

## 富士見市公共施設利用者アンケート報告書

～公共施設の利用状況や今後の公共施設の在り方に関する意向調査～

令和2年3月

富士見市

# 目 次

<b>1. 富士見市公共施設利用者アンケートの実施概要</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 調査結果</b> .....	<b>2</b>
(1) 配布施設について .....	2
(2) 回答者について .....	3
問1：性別 .....	3
問2：年齢層 .....	3
(3) 市の公共施設全般の利用状況について .....	5
問3：利用状況 .....	5
(4) 今後の市の公共施設に対する方策について .....	7
問4：各方策に対する考え .....	7
(5) 利用登録ができる市の公共施設の利用状況について .....	24
問5：一番利用した施設 .....	24
問6：公共施設で行う活動 .....	28
問7：施設を選ぶときに重要視すること（複数回答） .....	34
問8：公共施設への主な移動手段 .....	41
問9：利用停止となった際に必要な措置（複数回答） .....	46
問10：改修や建て替えの際の要望（複数回答） .....	54
問11：公共施設に関する自由記述 .....	62
<b>3. 考察</b> .....	<b>66</b>
<b>4. 調査票</b> .....	<b>69</b>

# 1. 富士見市公共施設利用者アンケートの実施概要

---

## 1. 調査の目的

○市民の皆様が日頃どのように公共施設を利用されているのかや、公共施設の老朽化等にどのようなお考えをお持ちなのかをお伺いし、富士見市の今後の公共施設の在り方を検討する基礎資料として活用するために富士見市公共施設利用者アンケート（以下「本調査」という。）を実施しました。

## 2. 調査期間

○令和元年9月13日から同年10月15日まで

## 3. 調査対象

### （1）実施対象

○公共施設の利用者

### （2）調査方法

○市内にある16の公共施設（建物）の窓口にて配布、郵送又は窓口での回収

※鶴瀬公民館と鶴瀬コミュニティセンターは、一体的に運営しているため、配布を15の窓口で行いました。

### （3）回収結果

配布数(a)	2300 票
回収数(b)	716 票
回収率(b)/(a)	31.1 %

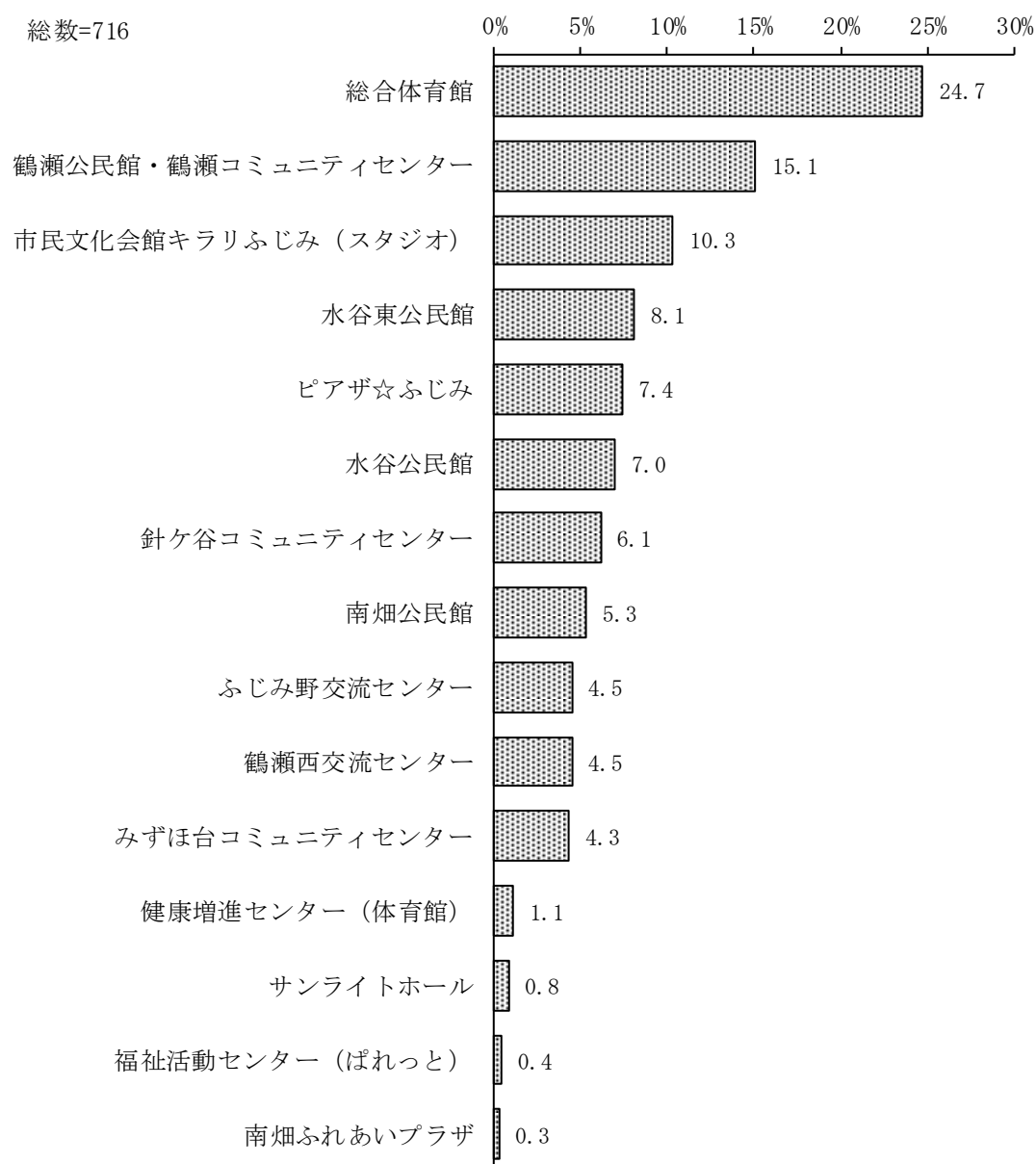
#### ■集計と結果の表記に関する留意事項

- 無回答又は指定した回答数を超えて回答があった場合は、無効回答としています。
- 条件付きで回答を求める設問に対し、条件に合わない回答があった場合は、無効回答としています。
- 調査結果は、回収数を分母とする比率を全て百分率（%）で表し、小数点第2位以下を四捨五入して表示しています。そのため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 集計のグラフについては、数値を表示することによって表現が煩雑となる場合は、5%未満の数値を非表示としている場合があります。
- 集計のグラフについては、回答の選択肢を全文で表示することによって表現が煩雑となる場合は、要約等で表現を変更している場合があります。
- 調査票における選択肢「3以外の軽い運動」は、「軽い運動」と表記しています。

## 2. 調査結果

### (1) 配布施設について

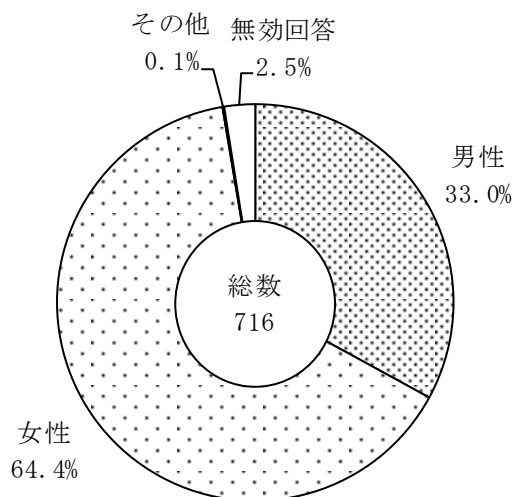
回答があった調査票の配布施設は、「総合体育館」が24.7%で割合が最も高く、「鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター」が15.1%、「市民文化会館キラリふじみ（スタジオ）」が10.3%、「水谷東公民館」が8.1%と続きます。



## (2) 回答者について

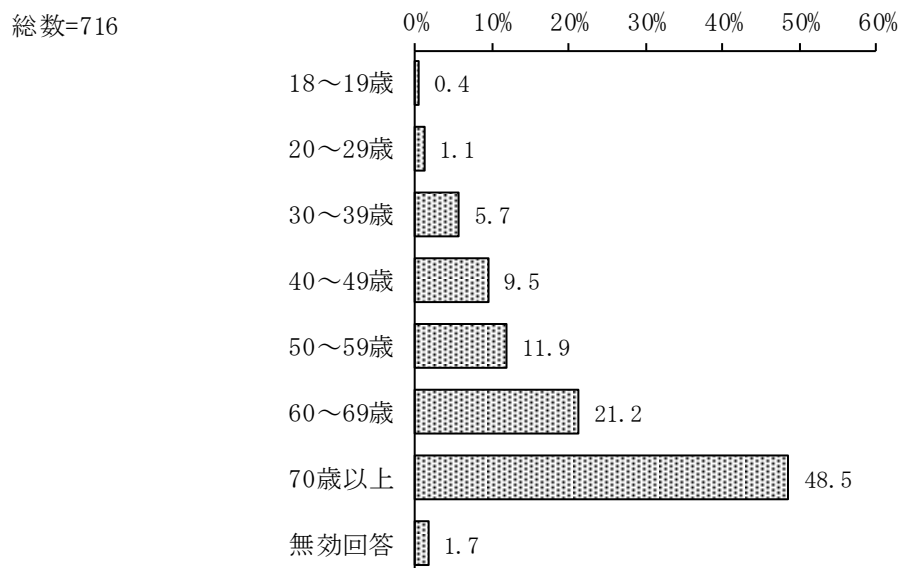
### 問1：性別

性別は「女性」が64.4%で割合が最も高く、「男性」が33.0%、「その他」が0.1%と続きます。



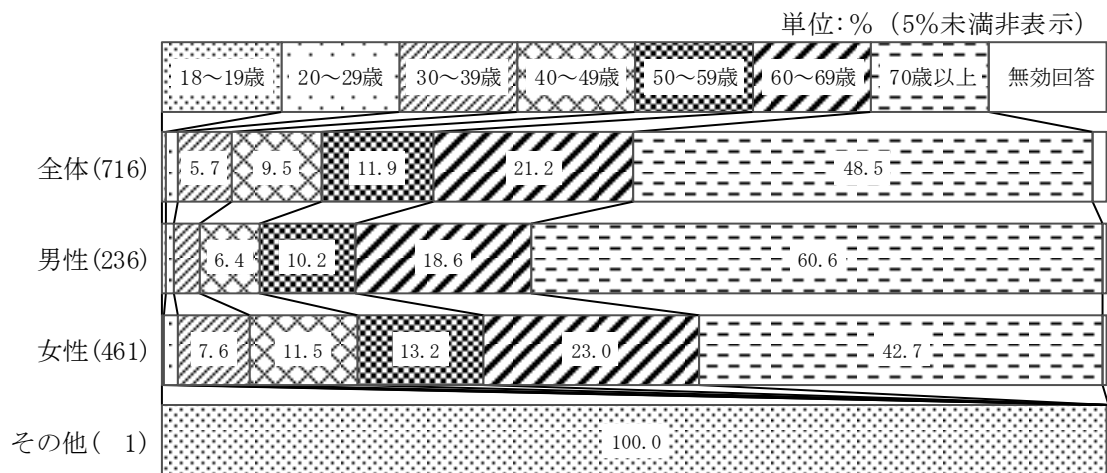
### 問2：年齢層

年齢層は「70歳以上」が48.5%で割合が最も高く、「60～69歳」が21.2%、「50～59歳」が11.9%、「40～49歳」が9.5%と続きます。



<クロス集計【年齢層・性別】>

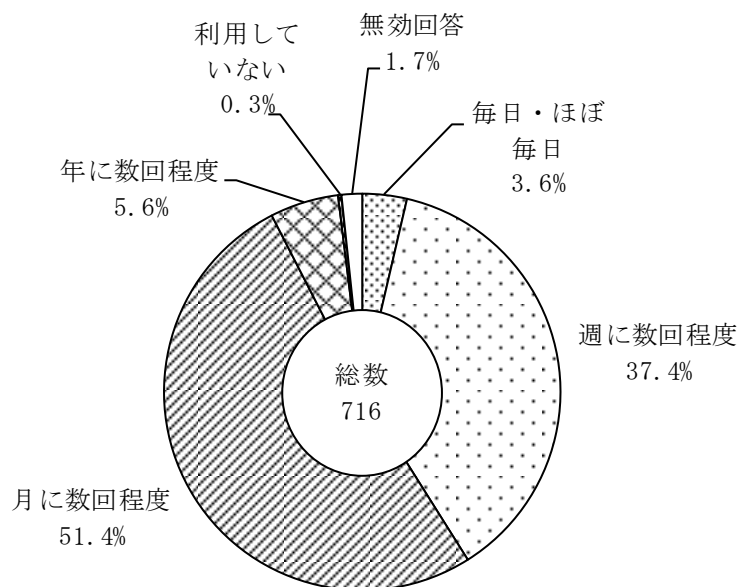
性別に年齢層をみると、「全体」に対して、「女性」より「男性」の方が「70歳以上」での割合が高くなる傾向があります。



### (3) 市の公共施設全般の利用状況について

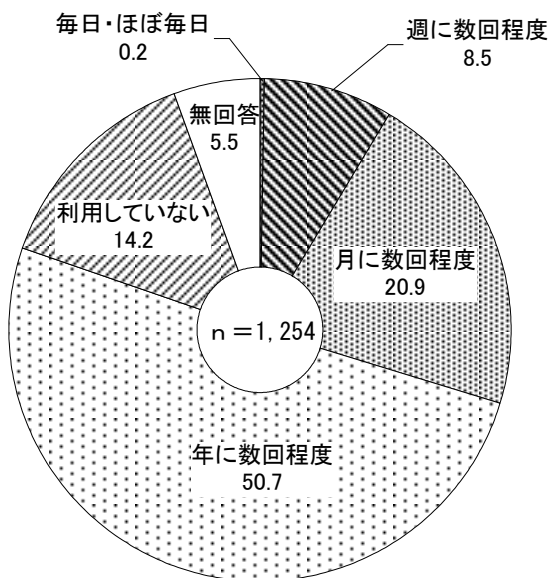
#### 問3：利用状況

市の公共施設全般の利用状況は、「月に数回程度」が51.4%で割合が最も高く、「週に数回程度」が37.4%、「年に数回程度」が5.6%、「毎日・ほぼ毎日」が3.6%と続きます。



#### 第15回富士見市民意識調査報告書（平成30年）との比較

第15回富士見市民意識調査報告書（平成30年）（以下「市民意識調査」という。）における利用状況（問4（1））と比較すると、市民意識調査では「年に数回程度」が過半を占めることに対し、本調査では「月に数回程度」が過半を占め、本調査の方が、利用頻度が高くなっています。

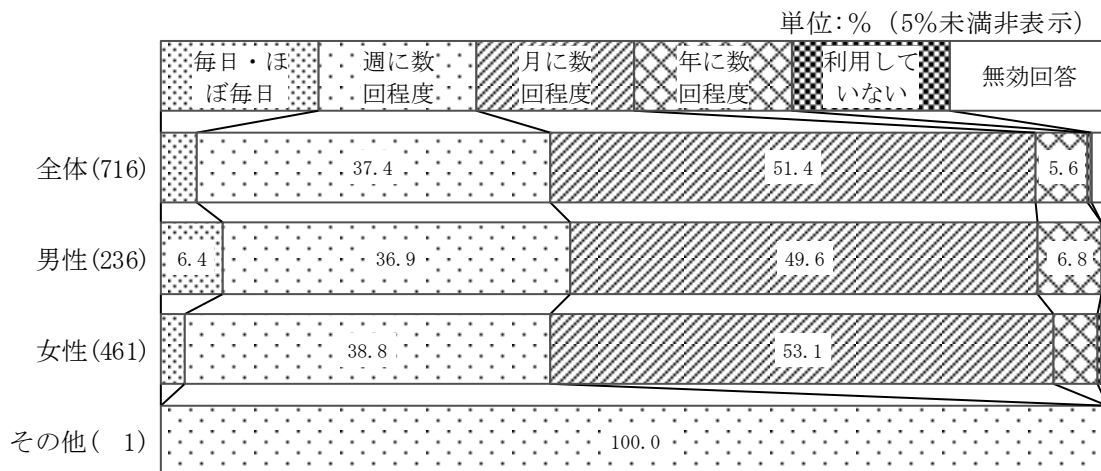


(%)

資料：第15回富士見市民意識調査報告書（平成30年）

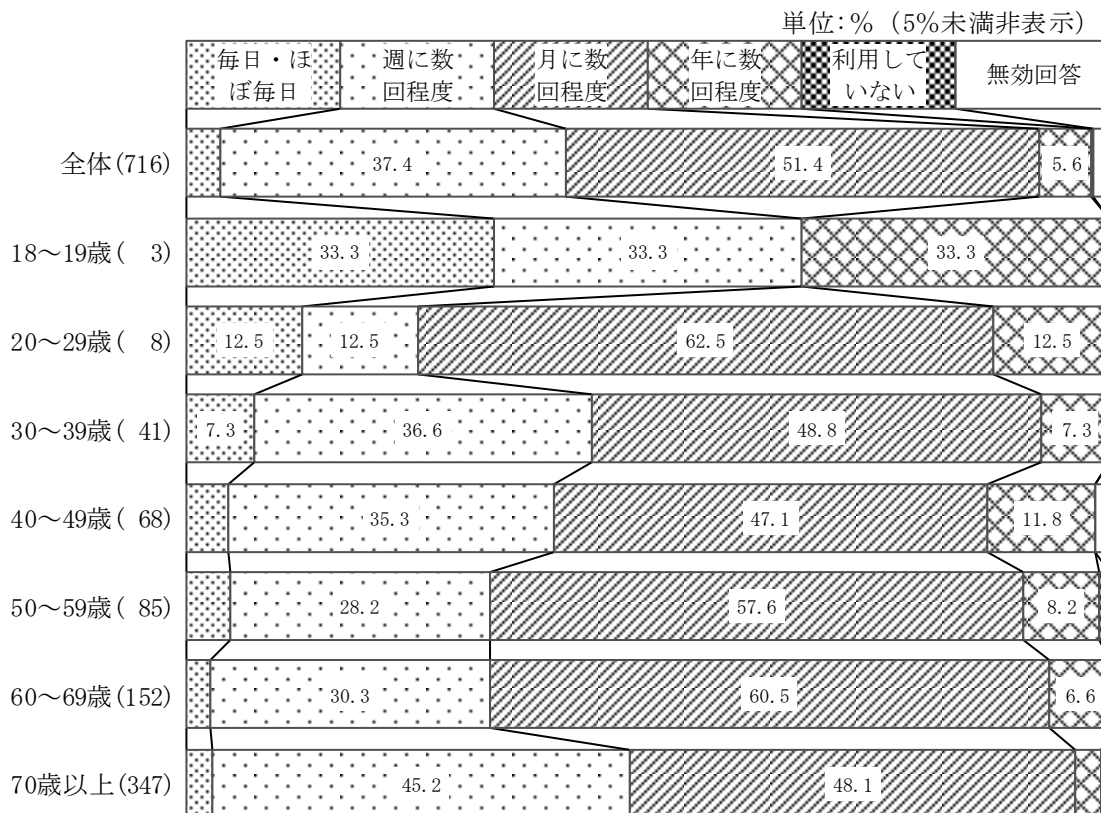
<クロス集計【利用状況・性別】>

性別に利用状況をみると、性別による利用状況の傾向に大きな差はありません。



<クロス集計【利用状況・年齢層】>

年齢層別利用状況をみると、「全体」に対して「70歳以上」の「週に数回程度」の割合が高くなります。





## (4) 今後の市の公共施設に対する方策について

### 問4：各方策に対する考え

各方策に対する考えをみると、「②利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う」で「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が71.6%と最も高く、「①施設の多機能化\*<sup>1</sup>や似たような施設の統合化\*<sup>2</sup>を進める」が67.2%、「④施設の維持・管理に関する経費を抑える」が58.9%、「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する」が58.6%、「③民間施設の利用に対して助成する」が57.2%と続きます。

一方、「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する」は、「どちらかといえば実施すべきでない」及び「実施すべきでない」の合計の割合が75.2%となっています。

※1 施設の多機能化とは、複合化ともいい、異なる機能の施設と複合することをいいます。

※2 施設の統合化とは、集約化ともいい、同一機能の施設をより少ない数に集約することをいいます。

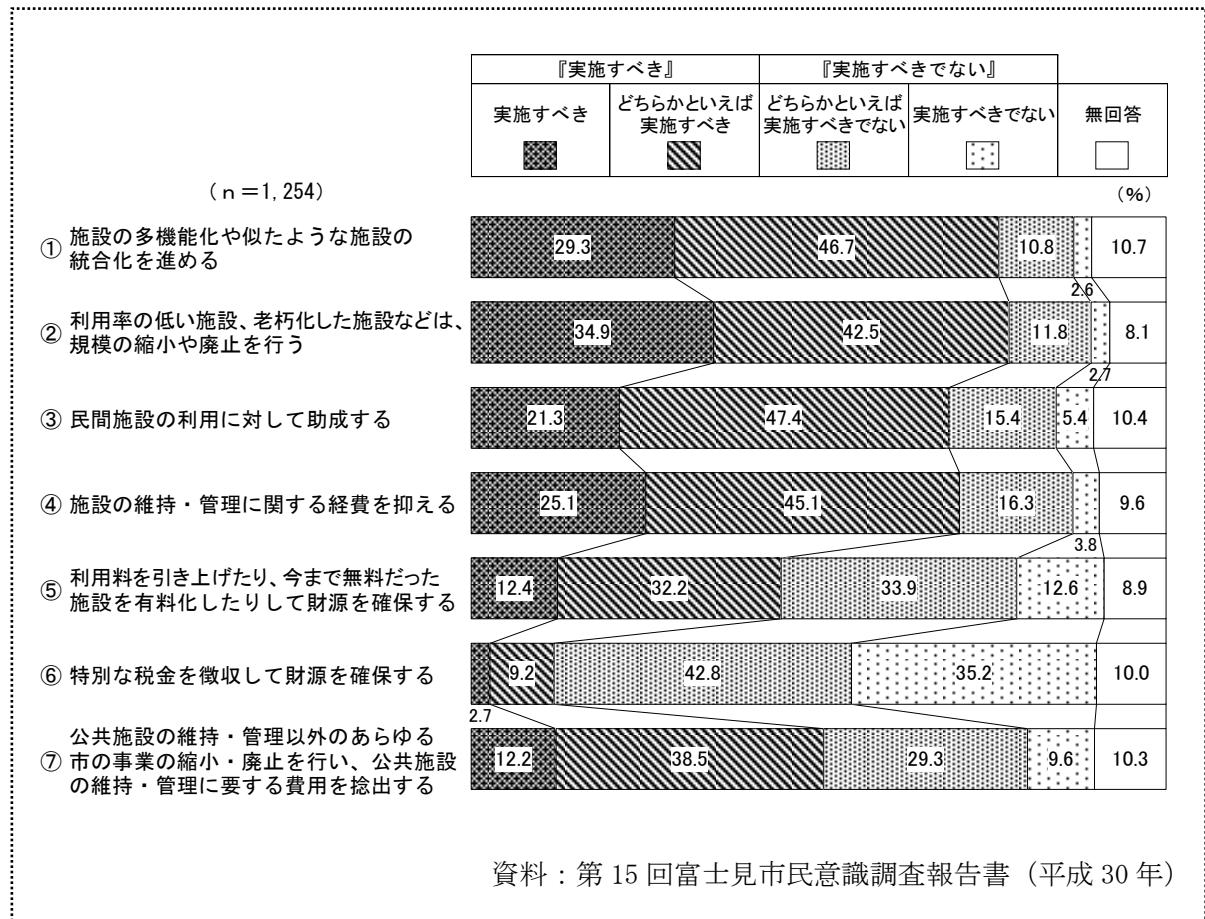
総数=716

単位：%（5%未満非表示）

	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	無効回答
① 施設の多機能化や似たような施設の統合化を進める	28.4	38.8	15.4	6.7	10.8
② 利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う	34.2	37.4	14.9	6.6	6.8
③ 民間施設の利用に対して助成する	20.0	37.2	22.2	10.8	9.9
④ 施設の維持・管理に関する経費を抑える	21.9	37.0	23.7	8.2	9.1
⑤ 利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する	20.5	38.1	22.9	12.2	6.3
⑥ 特別な税金を徴収して財源を確保する	12.3	40.6	34.6		8.5
⑦ 公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する	13.7	33.8	31.0	13.5	8.0

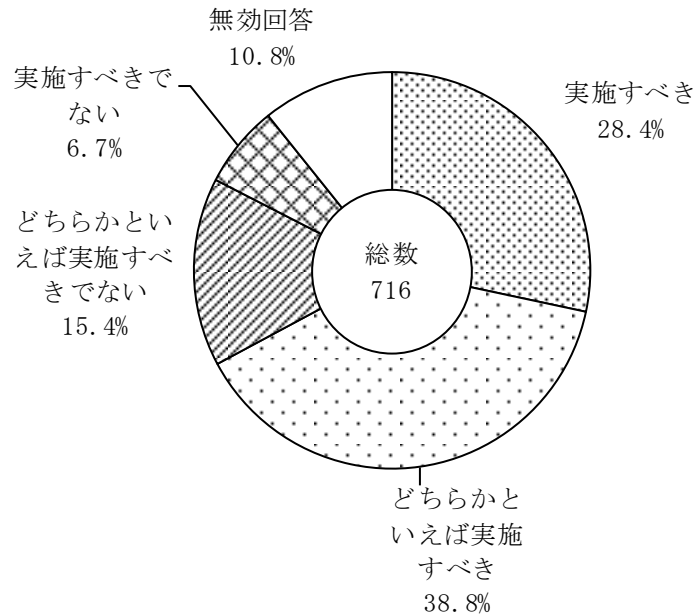
## 第 15 回富士見市民意識調査報告書（平成 30 年）との比較

市民意識調査における市の公共施設のあり方（問 4（3））と各方策に対する考えを比較すると、市民意識調査と本調査では、ほぼ同様の傾向が現れています。「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する」について、市民意識調査では「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が44.6%に対し、本調査では58.6%となり、14ポイント上回っています。



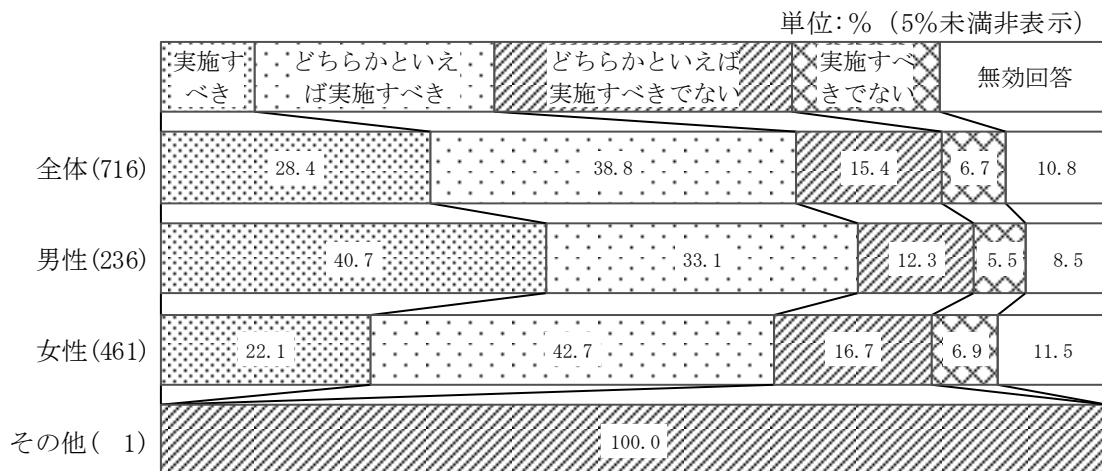
## 削減方策①

削減方策「①施設の多機能化や似たような施設の統合化を進める。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべき」の割合が38.8%で最も高く、「実施すべき」が28.4%、「どちらかといえば実施すべきでない」が15.4%、「実施すべきでない」が6.7%と続きます。



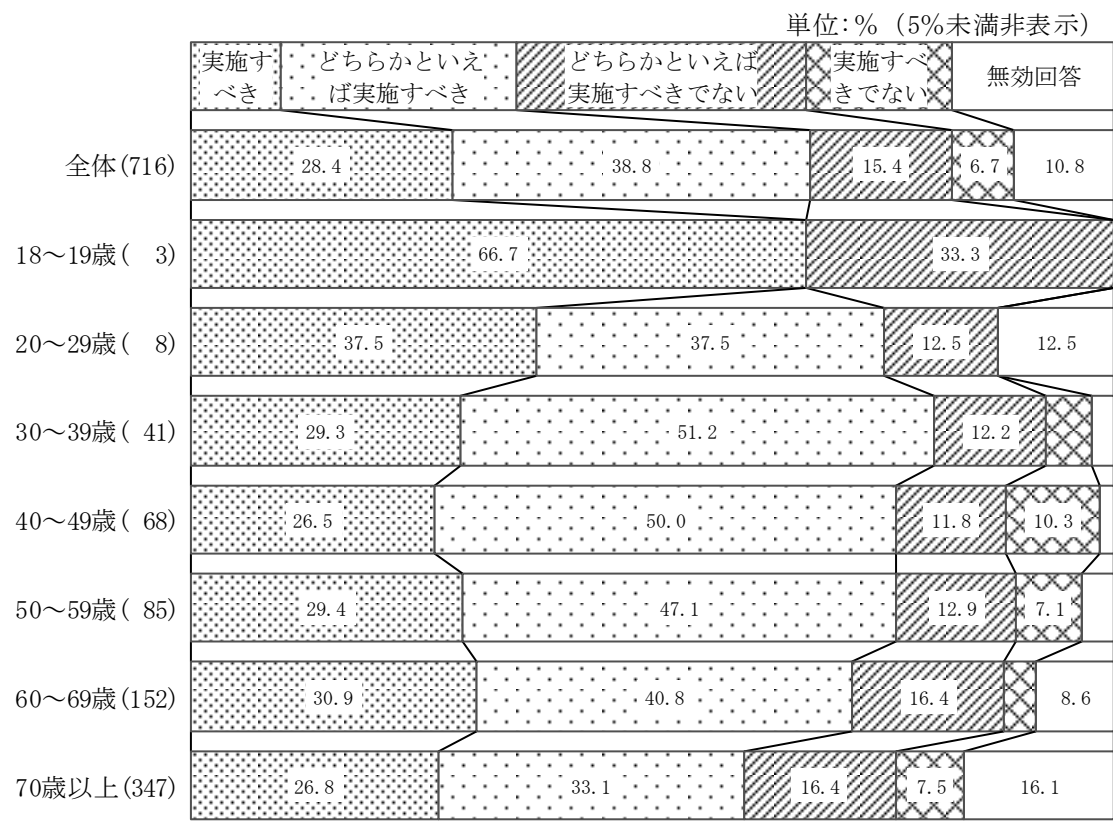
## <クロス集計【削減方策①・性別】>

性別に削減方策「①施設の多機能化や似たような施設の統合化を進める。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「女性」より「男性」の方が「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



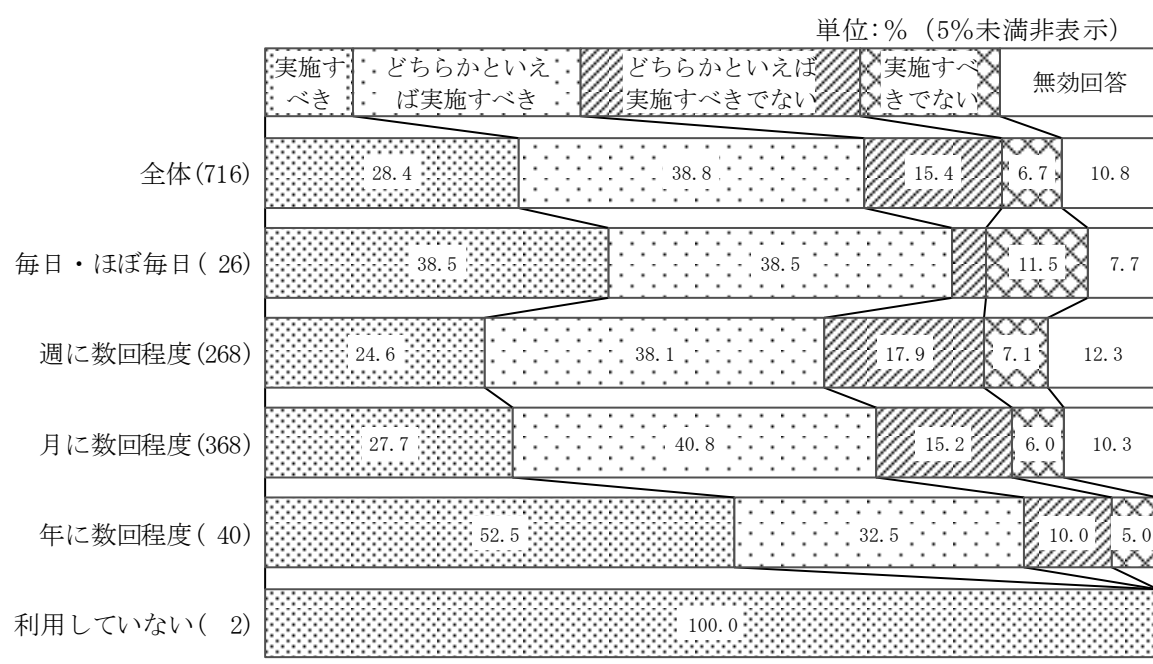
<クロス集計【縮減方策①・年齢層】>

年齢層別に縮減方策「①施設の多機能化や似たような施設の統合化を進める。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「70歳以上」の「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が低い傾向にあります。



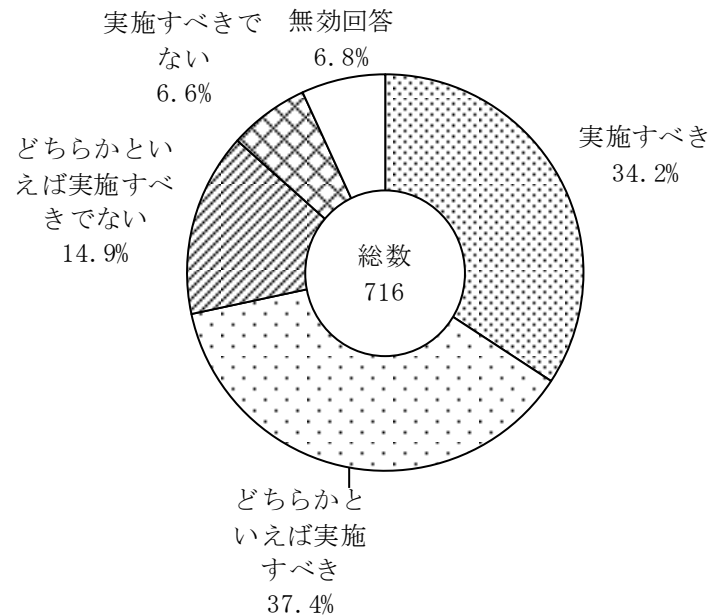
<クロス集計【縮減方策①・利用状況】>

利用状況別に縮減方策「①施設の多機能化や似たような施設の統合化を進める。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」、「毎日・ほぼ毎日」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



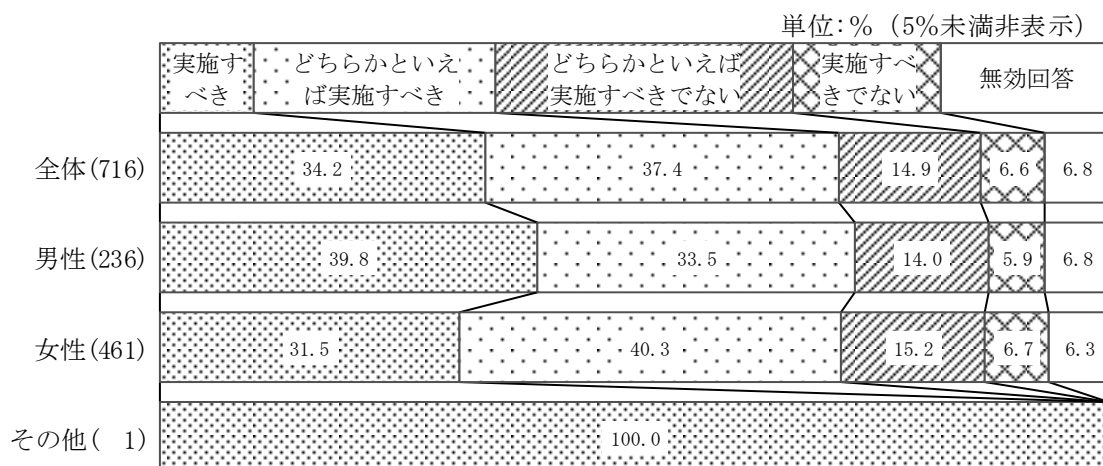
## 縮減方策②

縮減方策「②利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべき」の割合が37.4%で最も高く、「実施すべき」が34.2%、「どちらかといえば実施すべきでない」が14.9%、「実施すべきでない」が6.6%と続きます。



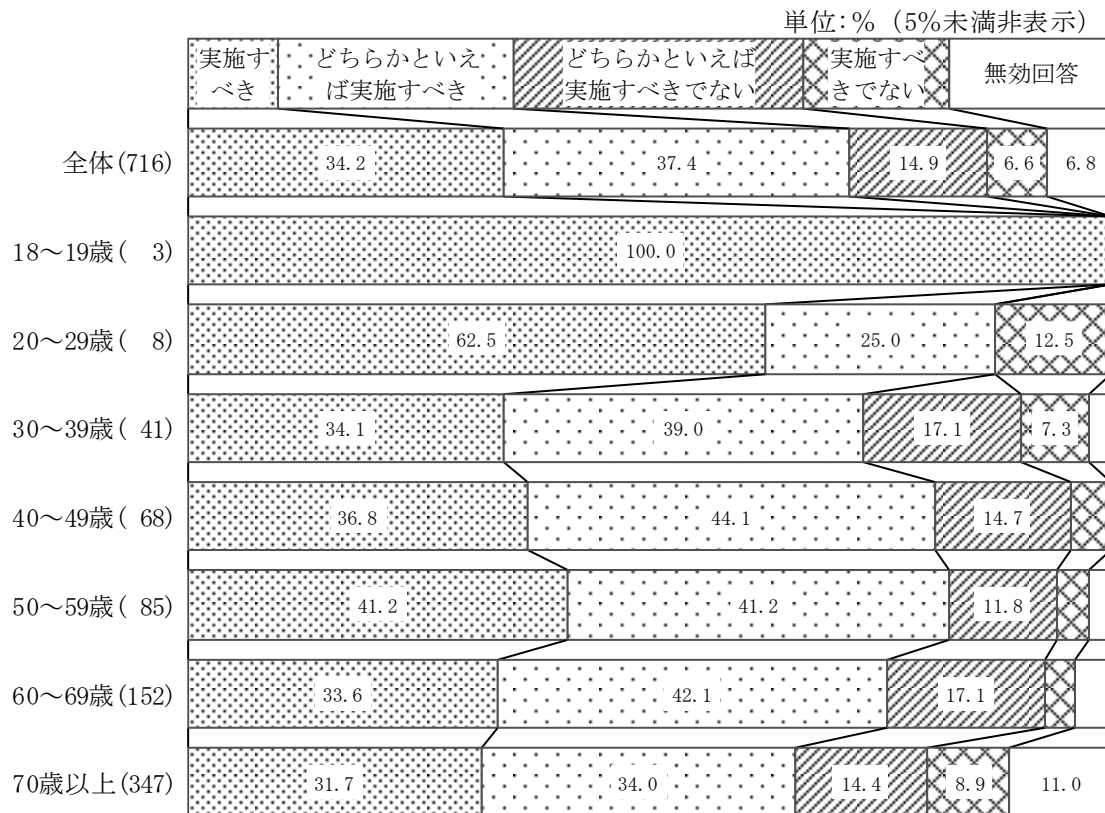
### <クロス集計【縮減方策②・性別】>

性別に縮減方策「②利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う。」に対する考えをみると、性別による考えの傾向に大きな差はありません。



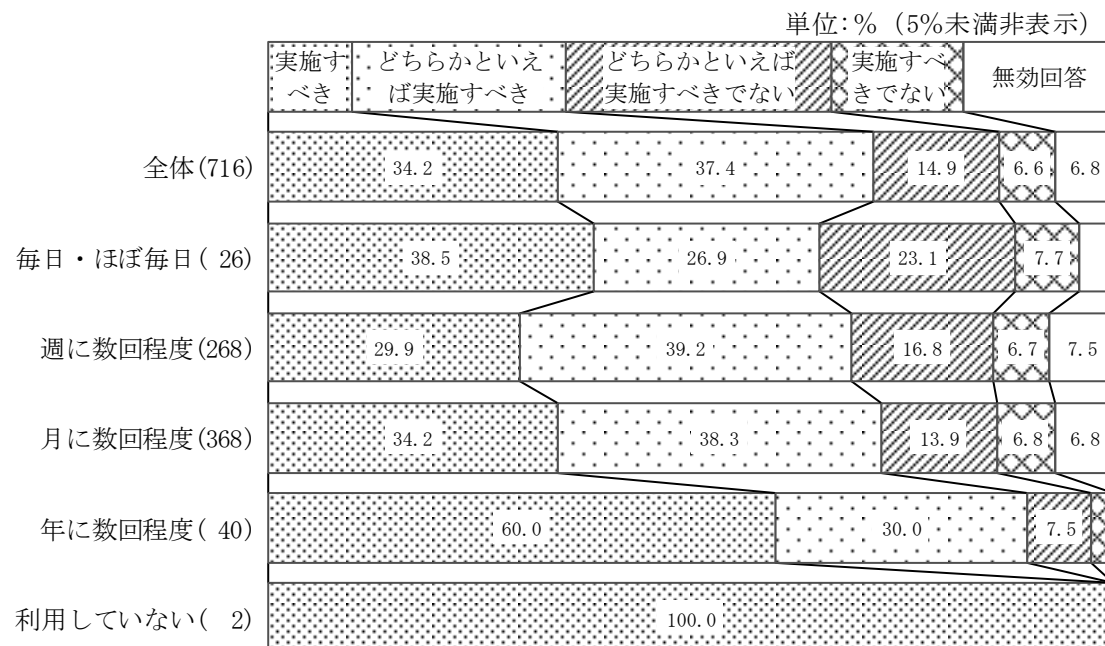
<クロス集計【縮減方策②・年齢層】>

年齢層別に縮減方策「②利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う。」に対する考えをみると、「70歳以上」の「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が低い傾向にあります。



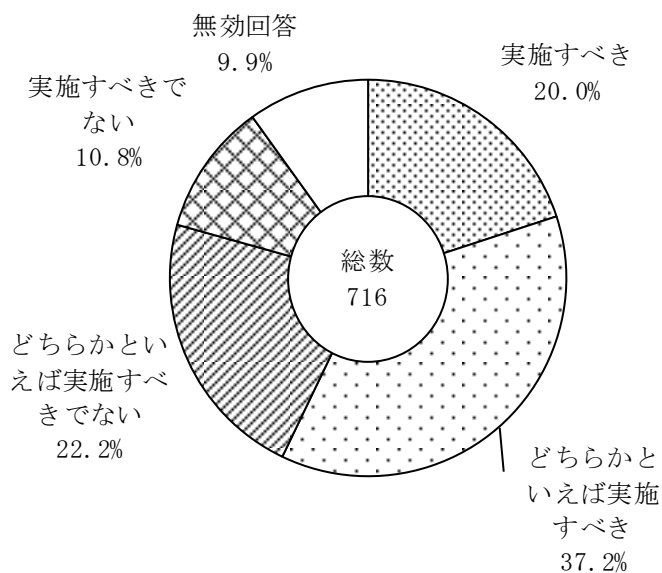
<クロス集計【縮減方策②・利用状況】>

利用状況別に縮減方策「②利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」の「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



### 縮減方策③

縮減方策「③民間施設の利用に対して助成する。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべき」の割合が37.2%で最も高く、「どちらかといえば実施すべきでない」が22.2%、「実施すべき」が20.0%、「実施すべきでない」と10.8%で続きます。



### <クロス集計【縮減方策③・性別】>

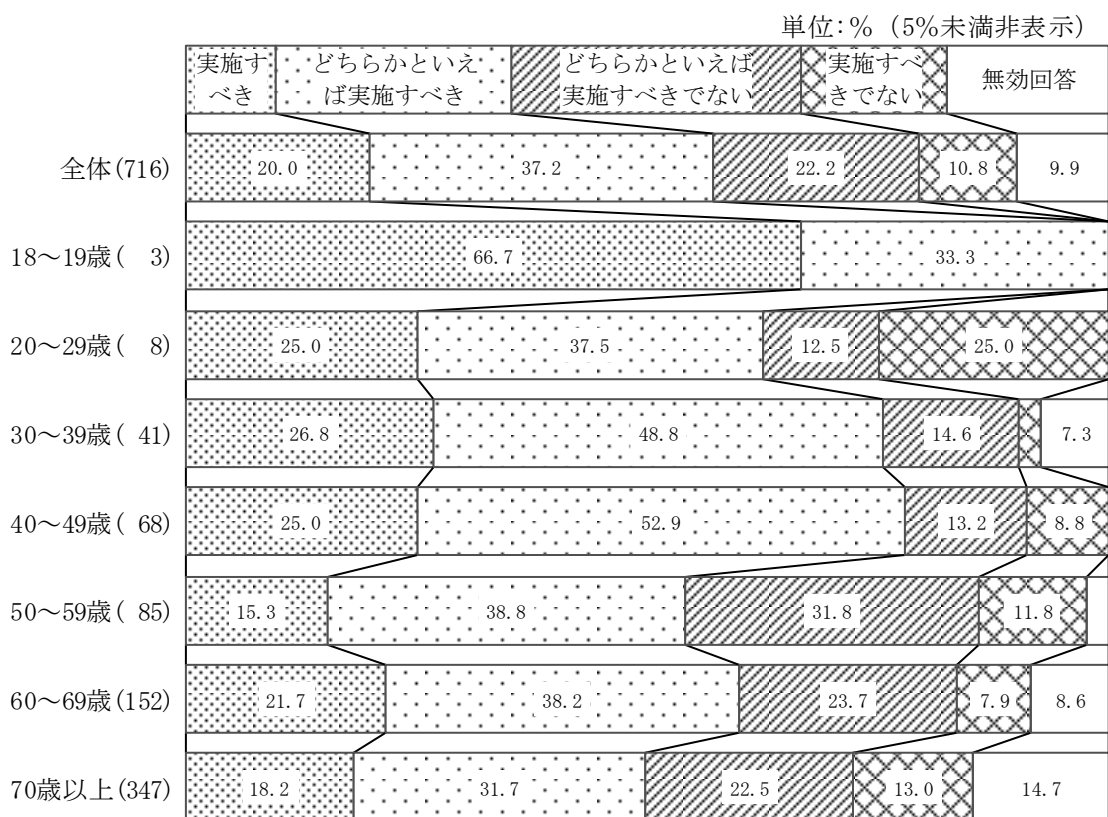
性別に縮減方策「③民間施設の利用に対して助成する。」に対する考えをみると、「女性」より「男性」の方が「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。

単位: % (5%未満非表示)

	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	無効回答
全体 (716)	20.0	37.2	22.2	10.8	9.9
男性 (236)	22.9	36.4	19.5	12.3	8.9
女性 (461)	18.4	38.0	23.6	10.2	9.8
その他 ( 1)		100.0			

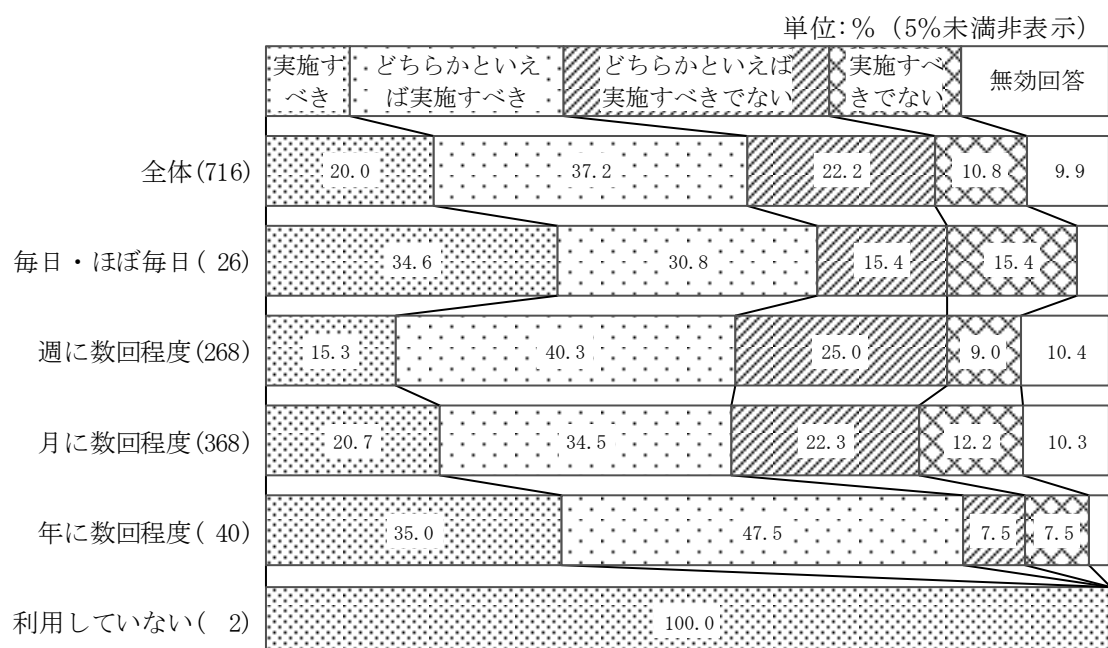
<クロス集計【縮減方策③・年齢層】>

年齢層別に縮減方策「③民間施設の利用に対して助成する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「18～19歳」、「40～49歳」、「30～39歳」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



<クロス集計【縮減方策③・利用状況】>

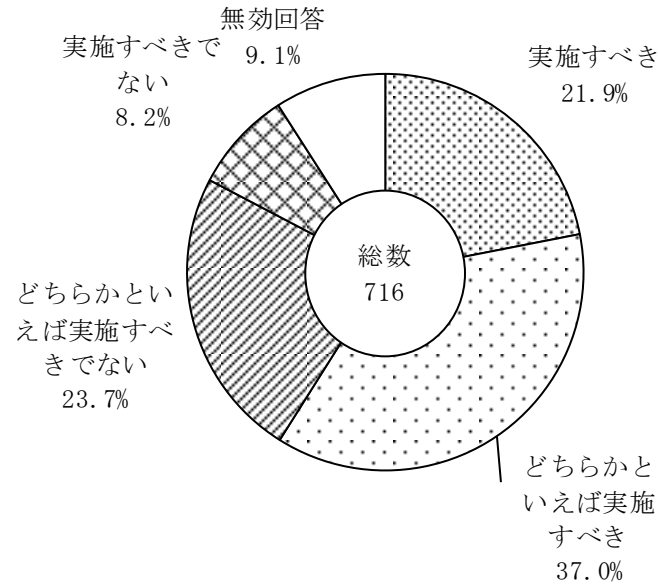
利用状況別に縮減策「③民間施設の利用に対して助成する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」、「毎日・ほぼ毎日」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。





## 維持方策④

維持方策「④施設の維持・管理に関する経費を抑える。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべき」の割合が37.0%で最も高く、「どちらかといえば実施すべきでない」が23.7%、「実施すべき」が21.9%、「実施すべきでない」と8.2%で続きます。



### <クロス集計【維持方策④・性別】>

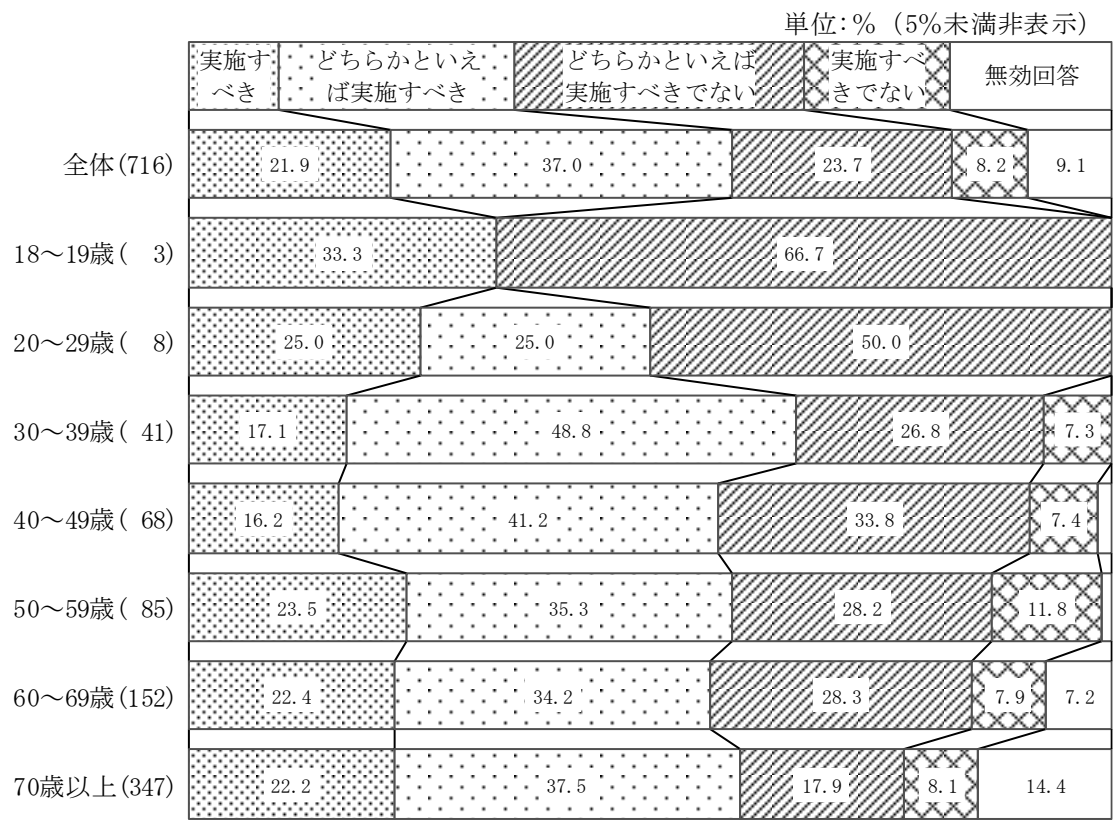
性別に維持方策「④施設の維持・管理に関する経費を抑える。」に対する考えをみると、「女性」より「男性」の方が「実施すべき」の割合が高い傾向にあります。

単位:% (5%未満非表示)

	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	無効回答
全体(716)	21.9	37.0	23.7	8.2	9.1
男性(236)	27.1	31.4	24.6	8.9	8.1
女性(461)	18.7	40.3	23.9	8.0	9.1
その他( 1)		100.0			

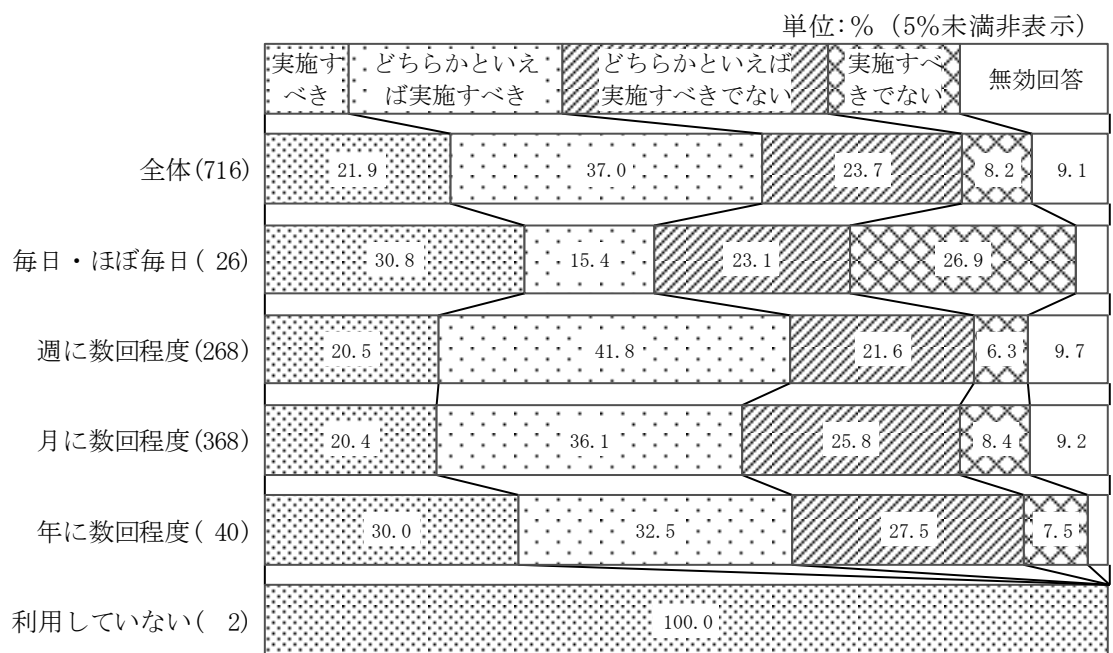
<クロス集計【維持方策④・年齢層】>

年齢層別に維持方策「④施設の維持・管理に関する経費を抑える。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「30～39歳」、「70歳以上」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



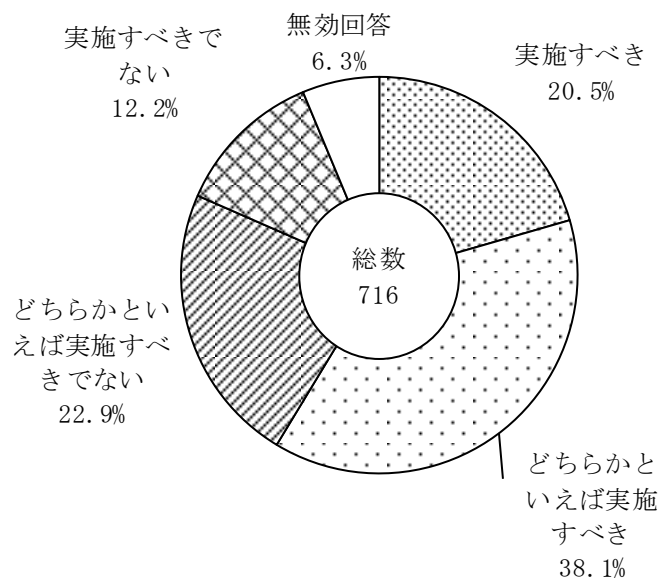
<クロス集計【維持方策④・利用状況】>

利用状況別に維持方策「④施設の維持・管理に関する経費を抑える。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」、「週に数回程度」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



## 維持方策⑤

維持方策「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。」に対する考えをみると、「どちらかといえば実施すべき」の割合が38.1%で最も高く、「どちらかといえば実施すべきでない」が22.9%、「実施すべき」が20.5%、「実施すべきでない」が12.2%と続きます。



### <クロス集計【維持方策⑤・性別】>

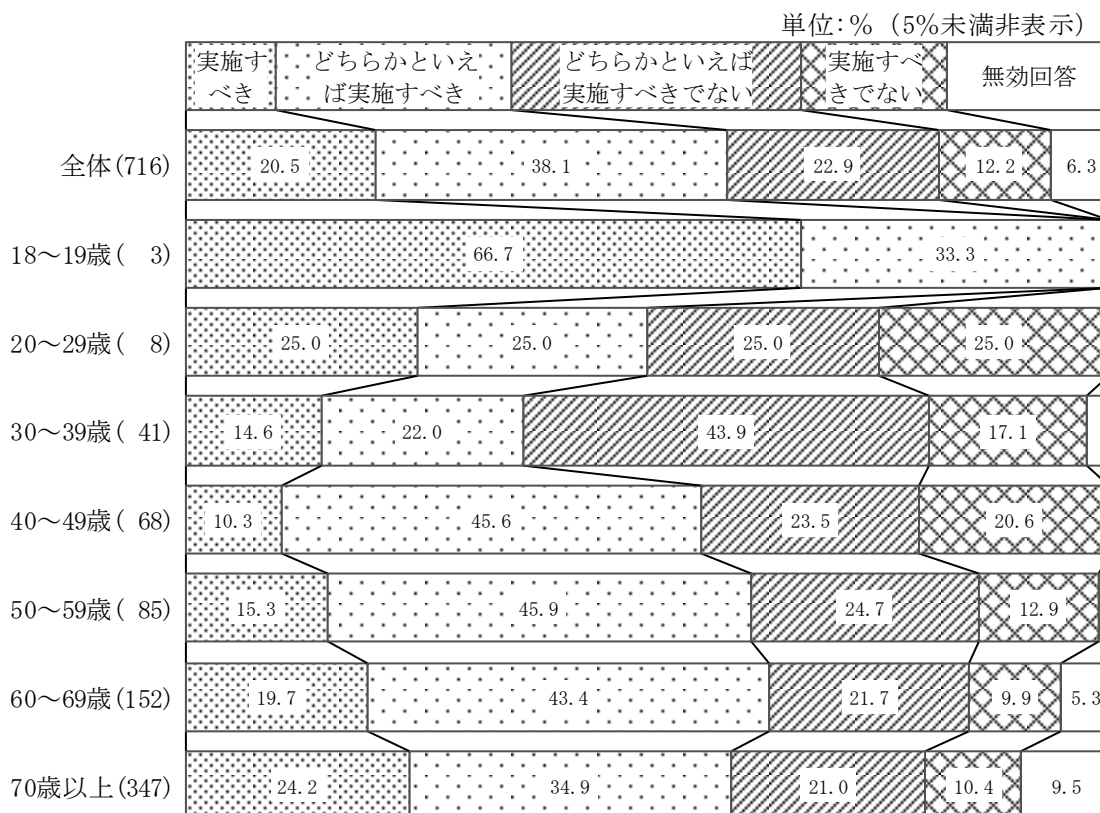
性別に維持方策「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。」に対する考えをみると、性別による利用状況の傾向に大きな差はありません。

単位：%（5%未満非表示）

	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	無効回答
全体(716)	20.5	38.1	22.9	12.2	6.3
男性(236)	22.9	39.0	21.2	12.7	
女性(461)	18.9	38.4	24.5	11.5	6.7
その他( 1)		100.0			

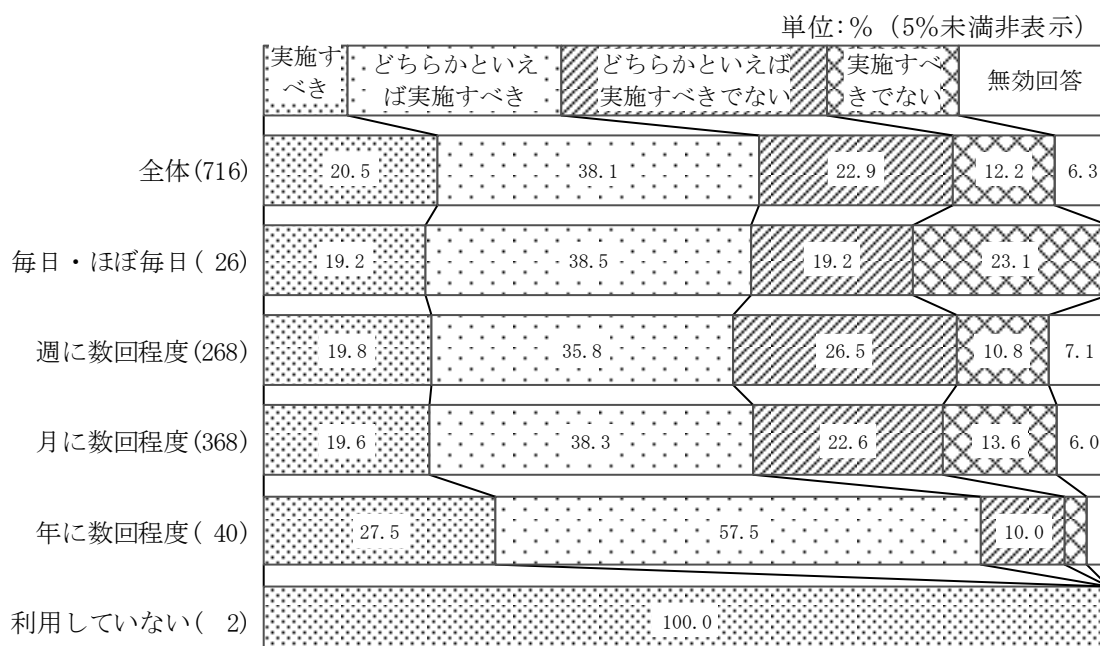
<クロス集計【維持方策⑤・年齢層】>

年齢層別に維持方策「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「30～39歳」、「20～29歳」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が低い傾向にあります。



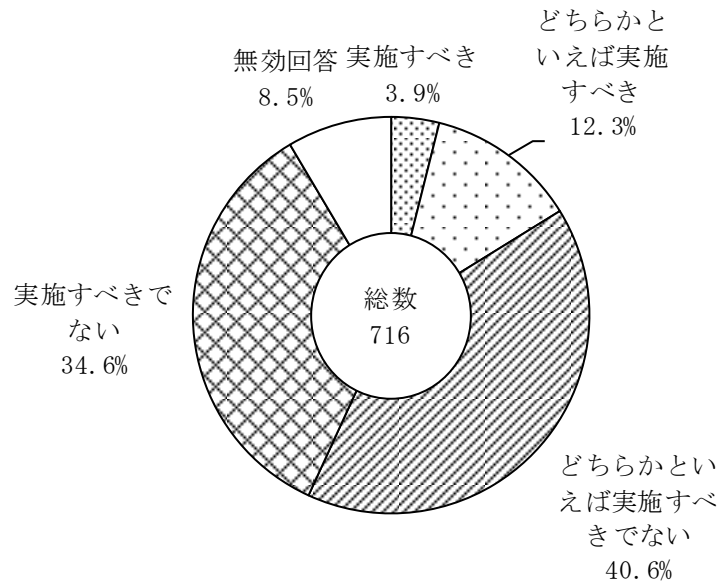
<クロス集計【維持方策⑤・利用状況】>

利用状況別に維持方策「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」の「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



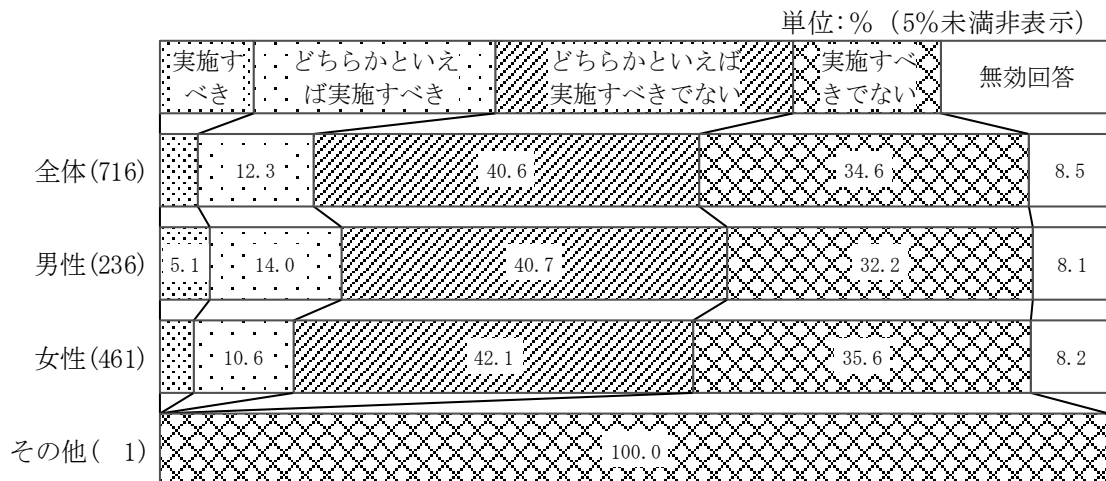
## 維持方策⑥

維持方策「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべきでない」の割合が40.6%で最も高く、「実施すべきでない」が34.6%、「どちらかといえば実施すべき」が12.3%、「実施すべき」が3.9%で続きます。



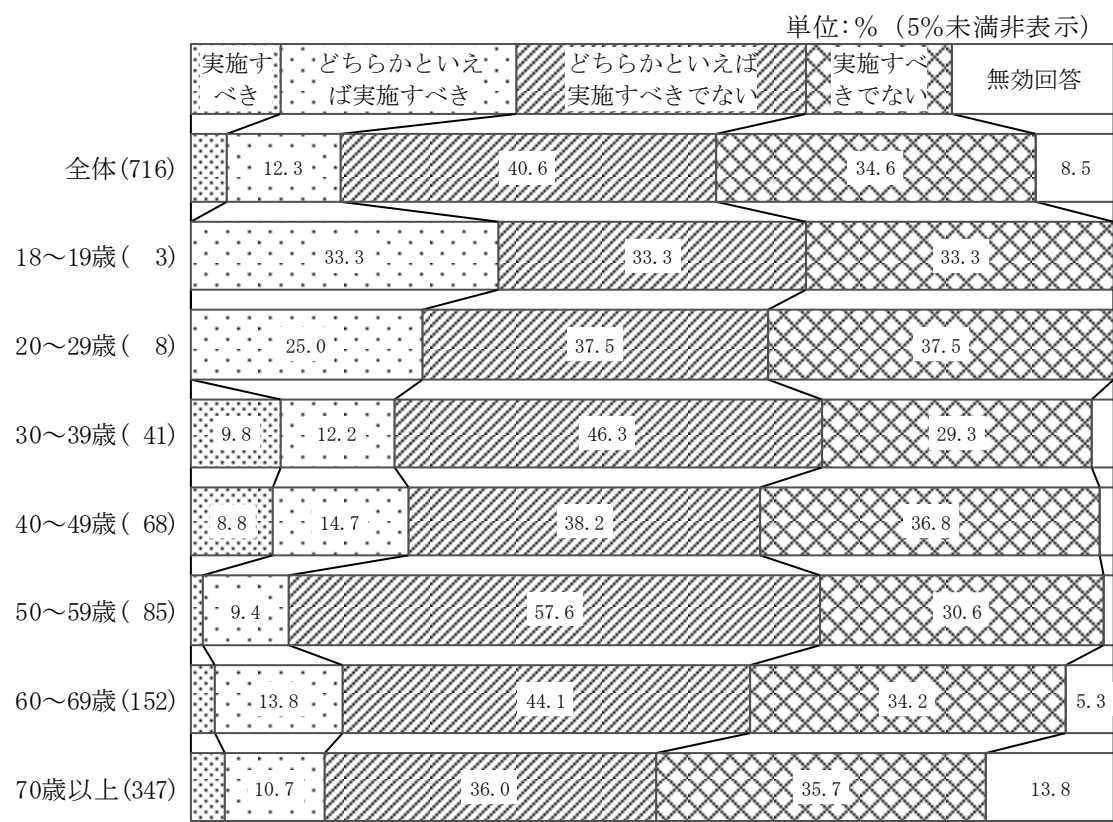
### <クロス集計【維持方策⑥・性別】>

性別に維持方策「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する。」に対する考えをみると、「女性」より「男性」の方が「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



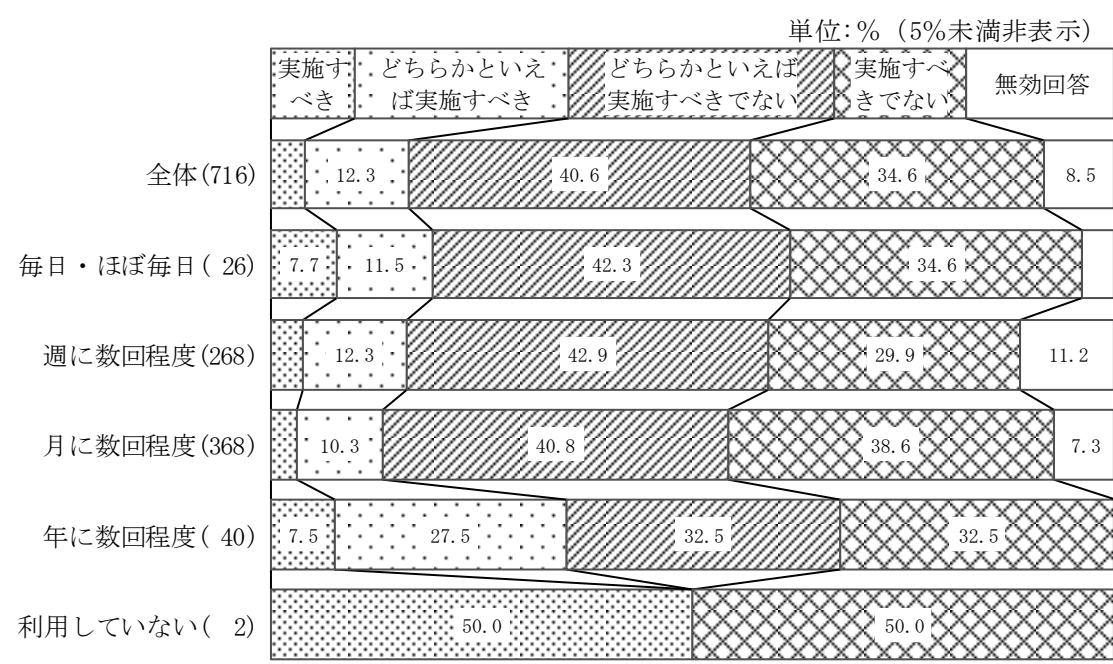
<クロス集計【維持方策⑥・年齢層】>

年齢層別に維持方策「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する。」に対する考えをみると、「50～59歳」から「70歳以上」に対して、「18～19歳」から「40～49歳」の「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



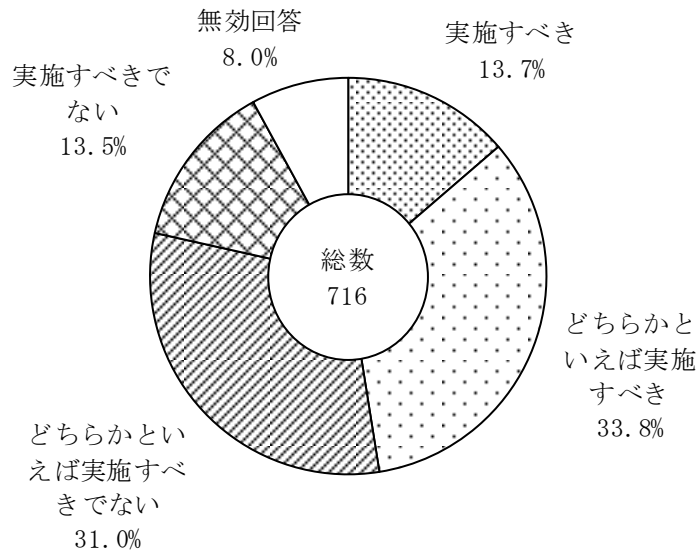
<クロス集計【維持方策⑥・利用状況】>

利用状況別に維持方策「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」、「毎日・ほぼ毎日」の順に「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



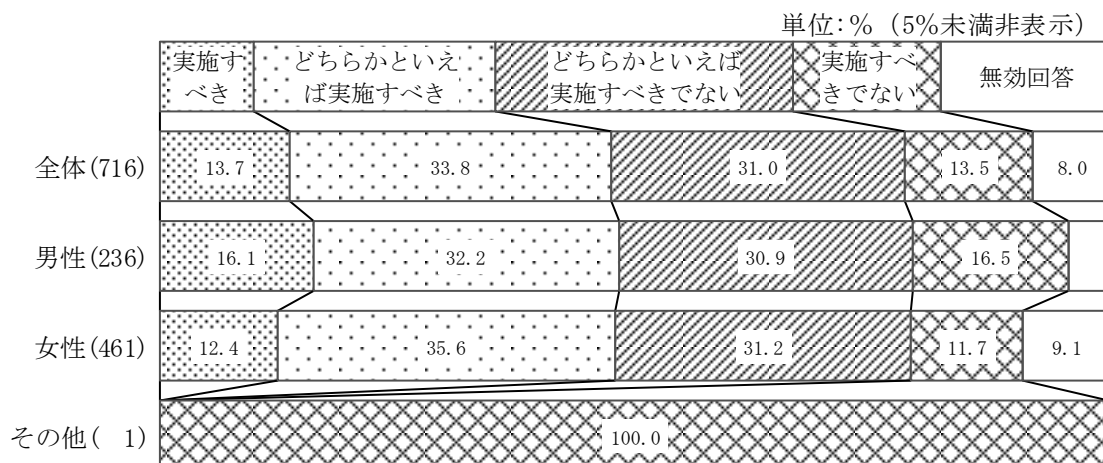
## その他方策⑦

その他方策「⑦公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する。」に対する考えは、「どちらかといえば実施すべき」の割合が33.8%で最も高く、「どちらかといえば実施すべきでない」が31.0%、「実施すべき」が13.7%、「実施すべきでない」が13.5%と続きます。



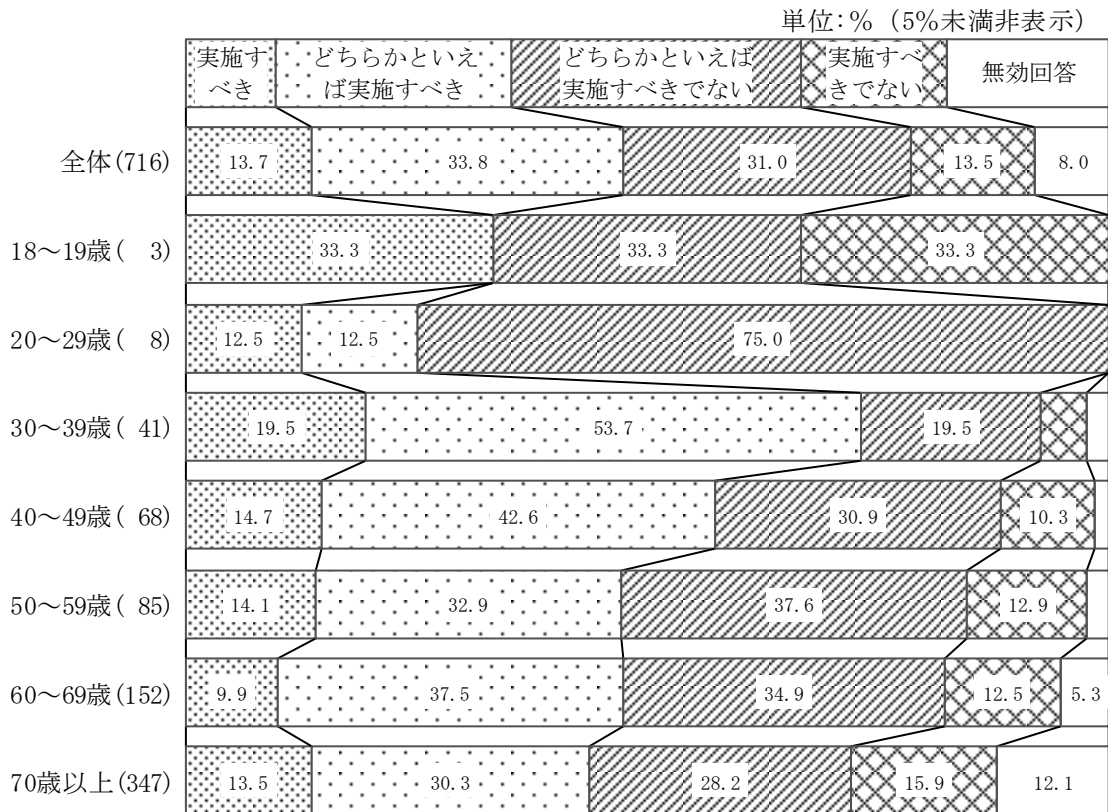
### <クロス集計【その他方策⑦・性別】>

性別に方策「⑦公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する。」に対する考えをみると、性別による利用状況の傾向に大きな差はありません。



<クロス集計【その他方策⑦・年齢層】>

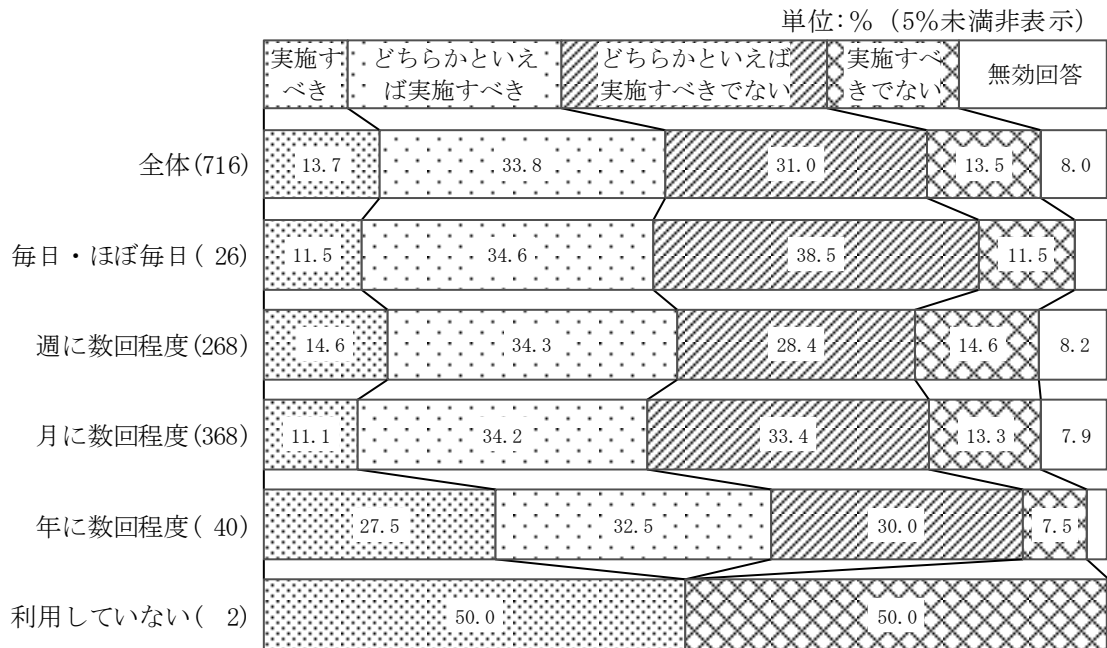
年齢層別に方策「⑦公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「30～39歳」から「40～49歳」で「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にある一方で、「20～29歳」で「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が低い傾向にあります。





<クロス集計【その他方策⑦・利用状況】>

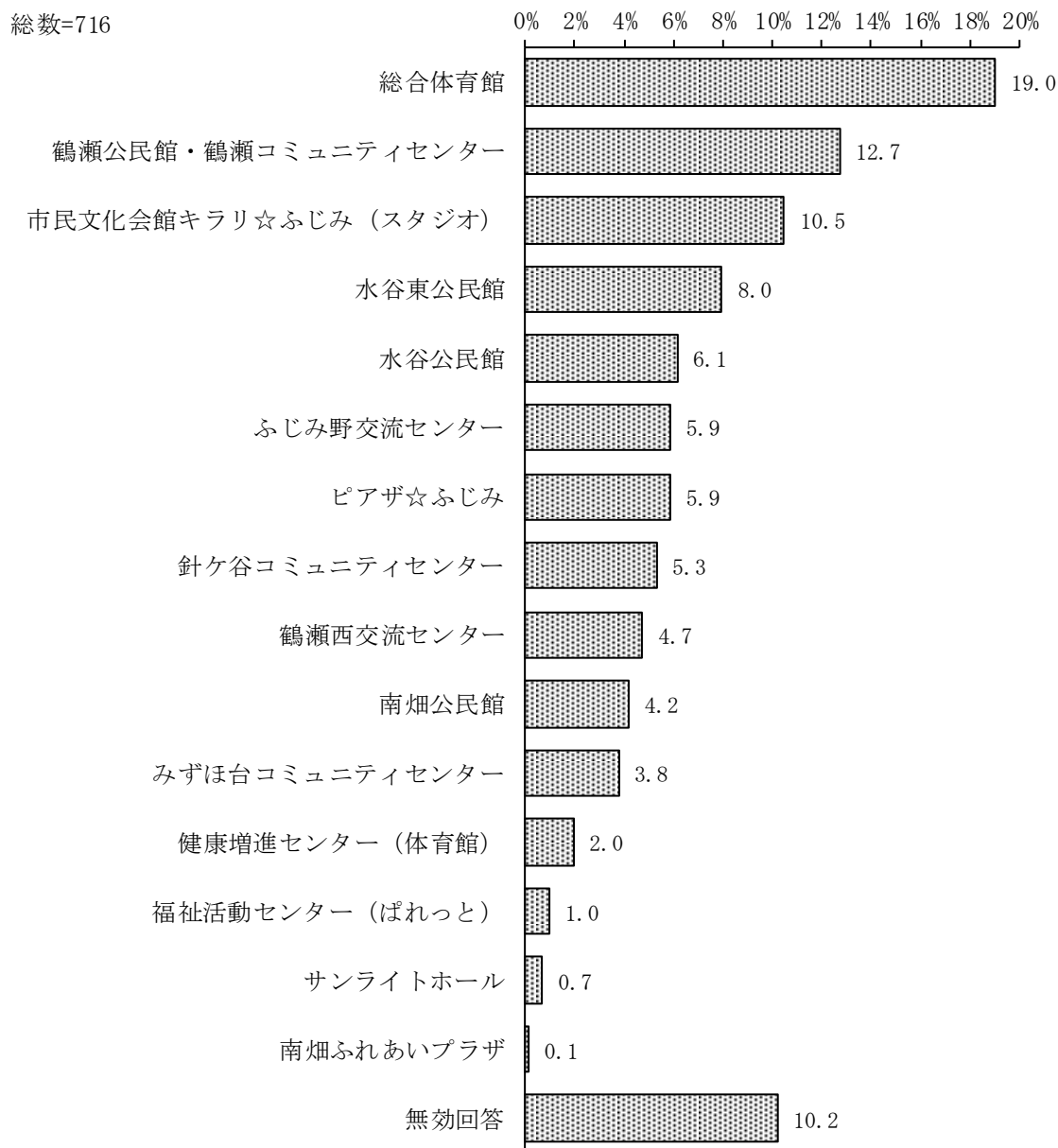
利用状況別に方策「⑦公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する。」に対する考えをみると、「全体」に対して、「年に数回程度」では、「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」の合計の割合が高い傾向にあります。



## (5) 利用登録ができる市の公共施設の利用状況について

### 問5：一番利用した施設

一番利用した施設は、「総合体育館」の割合が19.0%で最も高く、「鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター」が12.7%、「市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）」が10.5%、「水谷東公民館」が8.0%で続きます。



<クロス集計【一番利用した施設・性別】>

性別に一番利用した施設をみると、性別による利用状況の傾向に大きな差はありません。

(%)

	n	総合体育館	鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）	水谷東公民館	水谷公民館	ふじみ野交流センター	ピアザ☆ふじみ	針ヶ谷コミュニティセンター
全体	716	19.0	12.7	10.5	8.0	6.1	5.9	5.9	5.3
男性	236	19.5	12.7	11.4	8.5	5.1	5.5	5.5	5.1
女性	461	19.3	12.6	10.4	7.4	6.7	6.3	6.3	5.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	n	鶴瀬西交流センター	南畑公民館	みずほ台コミュニティセンター	健康増進センター（体育館）	福祉活動センター（ぱれつと）	サンライトホール	南畑ふれあいプラザ	無効回答
全体	716	4.7	4.2	3.8	2.0	1.0	0.7	0.1	10.2
男性	236	7.2	6.4	1.3	1.7	1.3	0.4	0.0	8.5
女性	461	3.7	3.0	4.8	2.0	0.9	0.9	0.2	10.6
その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【一番利用した施設・年齢層】>

年齢層別に一番利用した施設をみると、「全体」に対して「70歳以上」などで「鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター」等の公民館の割合が高い傾向にあります。

	n	総合体育館	鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）	水谷東公民館	水谷公民館	ふじみ野交流センター	ピアザ☆ふじみ	針ヶ谷コミュニティセンター	(%)
全体	716	19.0	12.7	10.5	8.0	6.1	5.9	5.9	5.3	
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
20～29歳	8	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
30～39歳	41	17.1	12.2	19.5	4.9	0.0	7.3	9.8	0.0	
40～49歳	68	26.5	11.8	19.1	5.9	1.5	0.0	10.3	2.9	
50～59歳	85	21.2	8.2	22.4	7.1	2.4	7.1	14.1	2.4	
60～69歳	152	22.4	8.6	13.2	7.2	7.2	5.3	5.3	6.6	
70歳以上	347	16.4	15.9	3.7	9.2	8.4	6.9	2.9	6.3	

	n	鶴瀬西交流センター	南畑公民館	みずほ台コミュニティセンター	健康増進センター（体育館）	福祉活動センター（ぱれつと）	サンライイトホール	南畑ふれあいプラザ	無効回答
全体	716	4.7	4.2	3.8	2.0	1.0	0.7	0.1	10.2
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
30～39歳	41	2.4	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	17.1
40～49歳	68	2.9	2.9	0.0	4.4	1.5	0.0	0.0	10.3
50～59歳	85	2.4	1.2	1.2	4.7	1.2	0.0	0.0	4.7
60～69歳	152	5.3	5.9	2.6	2.0	2.6	0.7	0.0	5.3
70歳以上	347	6.1	3.5	5.8	0.9	0.3	1.2	0.0	12.7

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【一番利用した施設・利用状況】>

利用状況別に一番利用した施設をみると、「全体」に対して、「毎日・ほぼ毎日」、「週に数回程度」の順に「総合体育館」の割合が高い傾向にあります。

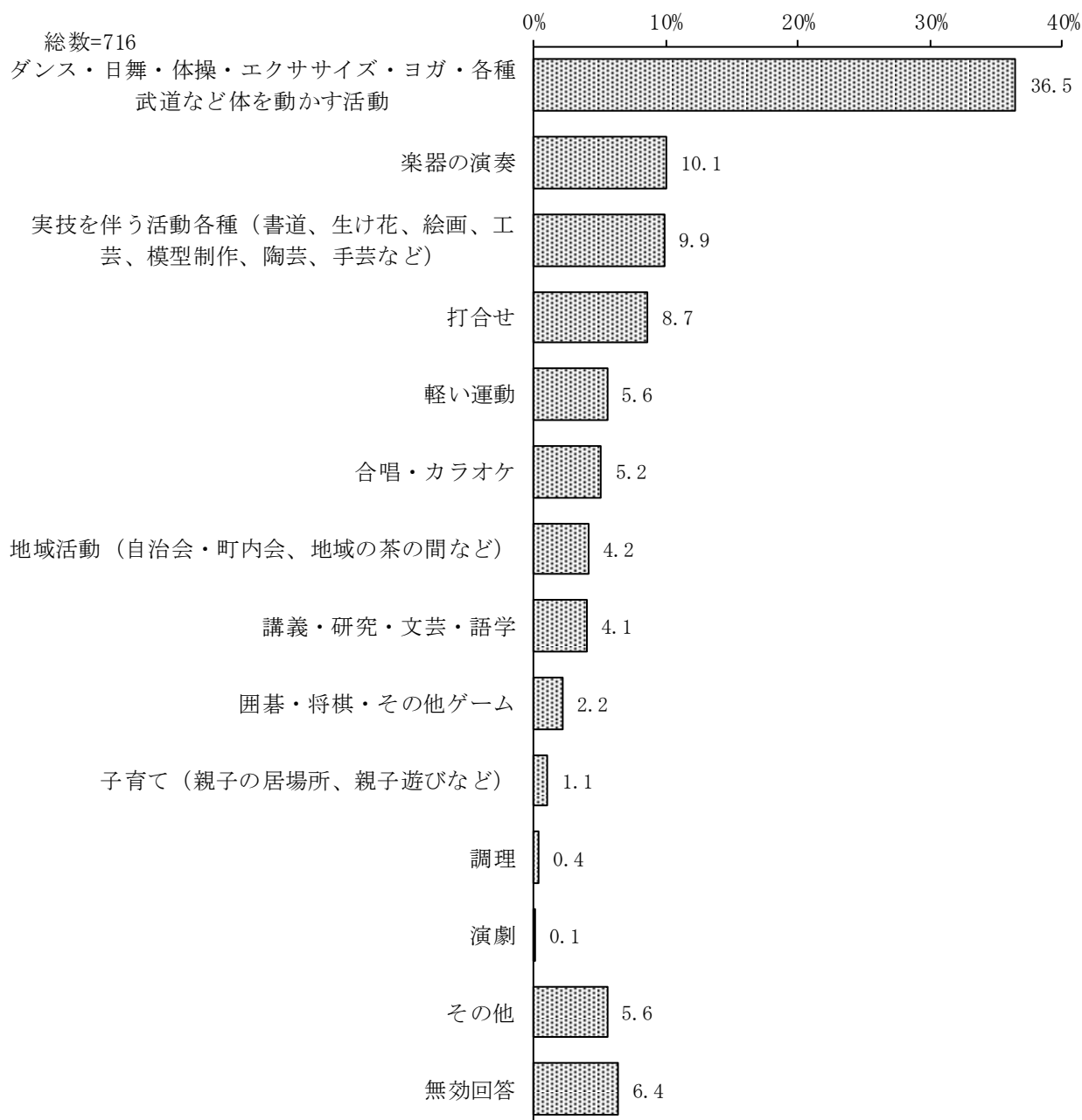
	n	総合体育館	鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）	水谷東公民館	水谷公民館	ふじみ野交流センター	ピアザ☆ふじみ	針ヶ谷コミュニティセンター	(%)
全体	716	19.0	12.7	10.5	8.0	6.1	5.9	5.9	5.3	
毎日・ほぼ毎日	26	38.5	11.5	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	
週に数回程度	268	29.1	11.2	7.1	7.8	4.5	4.9	4.5	4.9	
月に数回程度	368	12.0	13.9	14.4	6.8	8.2	7.3	5.7	6.3	
年に数回程度	40	10.0	12.5	5.0	25.0	0.0	2.5	17.5	2.5	
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	n	鶴瀬西交流センター	南畑公民館	みずほ台コミュニティセンター	健康増進センター（体育館）	福祉活動センター（ぱれつと）	サンライトホール	南畑ふれあいプラザ	無効回答
全体	716	4.7	4.2	3.8	2.0	1.0	0.7	0.1	10.2
毎日・ほぼ毎日	26	7.7	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
週に数回程度	268	4.1	3.0	4.9	3.0	0.7	0.0	0.4	10.1
月に数回程度	368	4.9	4.9	3.0	1.4	1.4	1.4	0.0	8.7
年に数回程度	40	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	12.5
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

## 問6：公共施設で行う活動

一番利用する公共施設で行う活動は、「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」の割合が36.5%で最も高く、「楽器の演奏」が10.1%、「実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）」が9.9%、「打合せ」が8.7%と続きます。



<クロス集計【公共施設で行う活動・性別】>

性別に公共施設で行う活動をみると、「男性」より「女性」の方が「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」や「実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）」の割合が高く、「女性」より「男性」の方が「楽器の演奏」や「打合せ」の割合が高い傾向にあります。

	n	ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動	楽器の演奏	実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）	打合せ	3以外の軽い運動	合唱・カラオケ	(%) 地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）
全体	716	36.5	10.1	9.9	8.7	5.6	5.2	4.2
男性	236	26.7	13.6	6.8	12.7	6.4	3.4	7.2
女性	461	41.6	8.7	11.1	6.7	5.4	5.6	2.8
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	n	講義・研究・文芸・語学	囲碁・将棋・その他ゲーム	子育て（親子の居場所、親子遊びなど）	調理	演劇	その他	無効回答
全体	716	4.1	2.2	1.1	0.4	0.1	5.6	6.4
男性	236	4.7	5.1	0.4	1.3	0.0	6.4	5.5
女性	461	3.7	0.7	1.5	0.0	0.2	5.2	6.7
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【公共施設で行う活動・年齢層】>

年齢層別に公共施設で行う活動をみると、「全体」に対して、「18～19歳」、「20～29歳」などでは「打合せ」の割合が高く、「30～39歳」などでは「子育て（親子の居場所、親子遊びなど）」の割合が高く、「70歳以上」では「実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）」の割合が高い傾向にあります。

	n	ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動	楽器の演奏	実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）	打合せ	3以外の軽い運動	その他	合唱・カラオケ
全体	716	36.5	10.1	9.9	8.7	5.6	5.6	5.2
18～19歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
20～29歳	8	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
30～39歳	41	43.9	17.1	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4
40～49歳	68	50.0	10.3	0.0	5.9	2.9	7.4	4.4
50～59歳	85	43.5	17.6	7.1	10.6	5.9	2.4	1.2
60～69歳	152	35.5	11.2	8.6	9.9	6.6	7.9	5.3
70歳以上	347	32.6	6.9	14.1	8.6	6.3	4.9	6.3

	n	地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）	講義・研究・文芸・語学	囲碁・将棋・その他ゲーム	子育て（親子の居場所、親子遊びなど）	調理	演劇	無効回答
全体	716	4.2	4.1	2.2	1.1	0.4	0.1	6.4
18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
30～39歳	41	2.4	4.9	0.0	14.6	0.0	0.0	9.8
40～49歳	68	2.9	4.4	0.0	2.9	0.0	0.0	8.8
50～59歳	85	4.7	3.5	0.0	0.0	1.2	0.0	2.4
60～69歳	152	5.3	3.9	1.3	0.0	0.0	0.0	4.6
70歳以上	347	4.3	4.0	4.0	0.0	0.6	0.0	7.2

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。



<クロス集計【公共施設で行う活動・利用状況】>

利用状況別に公共施設で行う活動をみると、「全体」に対して、「毎日・ほぼ毎日」や「年に数回程度」などでは「打合せ」の割合が高く、「週に数回程度」などでは「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」の割合が高い傾向にあります。

	n	ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動	楽器の演奏	工芸、模型制作、陶芸、手芸など	実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、）	打合せ	3以外の軽い運動	その他	(%) 合唱・カラオケ
全体	716	36.5	10.1	9.9	8.7	5.6	5.6	5.2	
毎日・ほぼ毎日	26	38.5	3.8	0.0	19.2	0.0	7.7	3.8	
週に数回程度	268	53.7	4.9	4.5	4.9	9.0	4.5	3.0	
月に数回程度	368	27.4	14.1	14.4	10.1	3.8	5.7	6.5	
年に数回程度	40	10.0	15.0	10.0	17.5	5.0	10.0	5.0	
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	n	地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）	講義・研究・文芸・語学	囲碁・将棋・その他ゲーム	子育て（親子の居場所、親子遊びなど）	調理	演劇	無効回答
全体	716	4.2	4.1	2.2	1.1	0.4	0.1	6.4
毎日・ほぼ毎日	26	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	19.2
週に数回程度	268	4.1	2.6	3.0	0.4	0.0	0.0	5.6
月に数回程度	368	4.6	4.3	1.9	1.4	0.8	0.0	4.9
年に数回程度	40	2.5	10.0	2.5	2.5	0.0	0.0	10.0
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【公共施設で行う活動・一番利用した施設】>

一番利用した施設別に公共施設で行う活動をみると、「全体」に対して、「南畑公民館」や「水谷公民館」、「水谷東公民館」などで「打合せ」や「地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）」の割合が高い傾向にあります。

	n	各種ダンス・武道など 体を動かす活動	楽器の演奏	工芸、模型制作、陶芸、手芸など	実技を伴う活動 各種（書道、生け花、絵画、）	打合せ	3以外の軽い運動	その他	(%) 合唱・カラオケ
全体	716	36.5	10.1	9.9	8.7	5.6	5.6	5.2	
鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	91	20.9	9.9	13.2	13.2	2.2	7.7	16.5	
南畑公民館	30	6.7	3.3	3.3	20.0	3.3	10.0	3.3	
水谷公民館	44	31.8	2.3	15.9	13.6	2.3	2.3	11.4	
水谷東公民館	57	19.3	0.0	15.8	24.6	10.5	3.5	10.5	
ふじみ野交流センター	42	19.0	2.4	28.6	14.3	2.4	7.1	9.5	
鶴瀬西交流センター	34	8.8	0.0	20.6	17.6	2.9	8.8	8.8	
みずほ台コミュニティセンター	27	59.3	3.7	22.2	3.7	7.4	3.7	0.0	
針ヶ谷コミュニティセンター	38	18.4	13.2	10.5	10.5	2.6	10.5	2.6	
サンライトホール	5	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
南畑ふれあいプラザ	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ピアザ☆ふじみ	42	38.1	7.1	2.4	4.8	2.4	4.8	0.0	
福祉活動センター（ぱれっと）	7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0	
健康増進センター（体育館）	14	78.6	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	
市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）	75	33.3	61.3	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	
総合体育館	136	77.9	0.0	0.7	0.0	14.7	5.1	0.7	

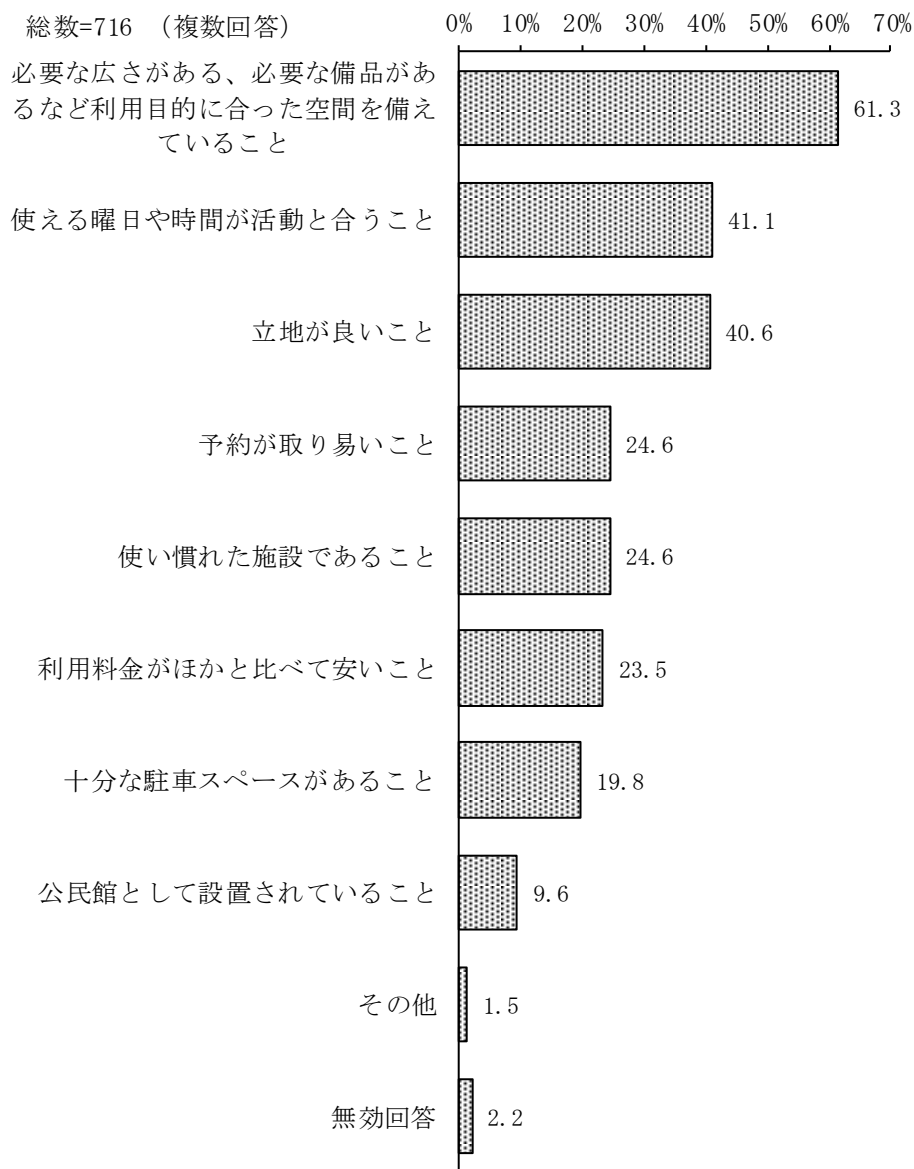
※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

	n	地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）	講義・研究・文芸・語学	囲碁・将棋・その他ゲーム	子育て（親子の居場所、親子遊びなど）	調理	演劇	無効回答
全体	716	4.2	4.1	2.2	1.1	0.4	0.1	6.4
鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	91	2.2	3.3	3.3	1.1	2.2	0.0	4.4
南畑公民館	30	23.3	3.3	6.7	13.3	0.0	0.0	3.3
水谷公民館	44	9.1	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
水谷東公民館	57	8.8	0.0	5.3	1.8	0.0	0.0	0.0
ふじみ野交流センター	42	7.1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
鶴瀬西交流センター	34	0.0	23.5	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9
みずほ台コミュニティセンター	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
針ヶ谷コミュニティセンター	38	13.2	2.6	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3
サンライトホール	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南畑ふれあいプラザ	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ピアザ☆ふじみ	42	7.1	16.7	2.4	2.4	2.4	2.4	7.1
福祉活動センター（ばれっと）	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康増進センター（体育館）	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）	75	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
総合体育館	136	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

## 問7：施設を選ぶときに重要視すること（複数回答）

施設を選ぶときに重要視することは、「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」の割合が61.3%で最も高く、「使える曜日や時間が活動と合うこと」が41.1%、「立地が良いこと」が40.6%、「予約が取り易いこと」が24.6%と続きます。



<クロス集計【施設を選ぶときに重要視すること・性別】>

性別に施設を選ぶときに重要視することをみると、「女性」より「男性」の方が「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」や「使える曜日や時間が活動と合うこと」、「立地が良いこと」の割合が低い傾向にあった一方で、「予約が取り易いこと」や「利用料金がほかと比べて安いこと」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)				
	n	必要な広さがある、必要な備品があることなど	使える曜日や時間が活動と合うこと	立地が良いこと	予約が取り易いこと	使い慣れた施設であること
全体	716	61.3	41.1	40.6	24.6	24.6
男性	236	55.5	35.2	35.6	32.6	19.9
女性	461	64.6	43.8	43.0	20.6	26.2
その他	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0

	n	利用料金がほかと比べて安いこと	十分な駐車スペースがあること	公民館として設置されていること	その他	無効回答
全体	716	23.5	19.8	9.6	1.5	2.2
男性	236	27.1	20.3	11.0	2.1	1.7
女性	461	21.9	19.5	8.9	1.3	2.6
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【施設を選ぶときに重要視すること・年齢層】>

年齢層別に施設を選ぶときに重要視することをみると、「全体」に対して、「18～19歳」、「20～29歳」、「70歳以上」では、「立地が良いこと」の割合が高く、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」では、「十分な駐車スペースがあること」の割合が高い傾向にあります。また、「70歳以上」では、「利用料金がほかと比べて安いこと」の割合が低い一方で、「使い慣れた施設であること」や「公民館として設置されていること」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)									
		利用目的に合った空間を備えていることなど	必要な広さがある、必要な備品があること	使える曜日や時間が活動と合うこと	立地が良いこと	予約が取り易いこと	使い慣れた施設であること	利用料金がほかと比べて安いこと	十分な駐車スペースがあること	公民館として設置されていること	その他
全体	716	61.3	41.1	40.6	24.6	24.6	23.5	19.8	9.6	1.5	2.2
18～19歳	3	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	50.0	50.0	50.0	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5
30～39歳	41	75.6	48.8	39.0	26.8	14.6	34.1	24.4	0.0	4.9	2.4
40～49歳	68	64.7	58.8	27.9	22.1	11.8	26.5	29.4	1.5	4.4	7.4
50～59歳	85	74.1	45.9	34.1	20.0	7.1	36.5	31.8	3.5	0.0	2.4
60～69歳	152	61.8	44.1	40.8	28.3	23.0	25.0	25.7	9.2	0.0	0.0
70歳以上	347	55.9	34.3	44.4	24.2	33.4	18.2	11.8	14.1	1.7	2.0

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【施設を選ぶときに重要視すること・利用状況】>

利用状況別に施設を選ぶときに重要視することをみると、「全体」に対して、「毎日・ほぼ毎日」、「週に数回程度」などでは、「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」や「使える曜日や時間が活動と合うこと」、「使い慣れた施設であること」の割合が高く、「年に数回程度」などでは、「立地が良いこと」や「予約が取り易いこと」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)				
		利用目的に合った空間を備えているなど	使える曜日や時間が活動と合うこと	立地が良いこと	予約が取り易いこと	使い慣れた施設であること
全体	716	61.3	41.1	40.6	24.6	24.6
毎日・ほぼ毎日	26	65.4	50.0	26.9	26.9	30.8
週に数回程度	268	66.8	44.0	41.4	20.1	26.5
月に数回程度	368	58.2	38.9	38.9	27.4	23.9
年に数回程度	40	52.5	37.5	57.5	30.0	10.0
利用していない	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0

	n	利用料金がほかと比べて安いこと	十分な駐車スペースがあること	公民館として設置されていること	その他	無効回答
毎日・ほぼ毎日	26	23.1	19.2	0.0	3.8	0.0
週に数回程度	268	22.0	13.1	11.2	1.5	1.5
月に数回程度	368	26.1	25.0	9.0	1.4	1.9
年に数回程度	40	15.0	17.5	7.5	2.5	12.5
利用していない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【施設を選ぶときに重要視すること・一番利用した施設】>

一番利用した施設別に施設を選ぶときに重要視することをみると、「全体」に対して、「鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター」や「南畑公民館」、「水谷公民館」、「水谷東公民館」などで「使い慣れた施設であること」や「公民館として設置されていること」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)									
		利用目的に合った空間を備えていること	必要な広さがある、必要な備品があること	使える曜日や時間が活動と合うこと	立地が良いこと	予約が取り易いこと	使い慣れた施設であること	利用料金がほかと比べて安いこと	十分な駐車スペースがあること	公民館として設置されていること	その他
全体	716	61.3	41.1	40.6	24.6	24.6	23.5	19.8	9.6	1.5	2.2
鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	91	64.8	38.5	38.5	20.9	41.8	14.3	16.5	18.7	1.1	1.1
南畑公民館	30	53.3	20.0	16.7	26.7	33.3	13.3	40.0	23.3	6.7	0.0
水谷公民館	44	45.5	31.8	29.5	25.0	31.8	11.4	9.1	27.3	2.3	0.0
水谷東公民館	57	63.2	45.6	56.1	24.6	26.3	1.8	7.0	28.1	0.0	1.8
ふじみ野交流センター	42	69.0	38.1	57.1	21.4	28.6	16.7	31.0	7.1	0.0	0.0
鶴瀬西交流センター	34	73.5	38.2	70.6	11.8	29.4	14.7	8.8	2.9	0.0	2.9
みずほ台コミュニティセンター	27	40.7	25.9	77.8	29.6	37.0	11.1	7.4	0.0	3.7	0.0
針ヶ谷コミュニティセンター	38	44.7	44.7	47.4	36.8	36.8	10.5	28.9	5.3	0.0	0.0
サンライトホール	5	20.0	40.0	100.0	80.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
南畑ふれあいプラザ	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ピアザ☆ふじみ	42	59.5	31.0	71.4	16.7	4.8	35.7	2.4	4.8	4.8	7.1
福祉活動センター(ぱれっと)	7	42.9	71.4	14.3	42.9	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
健康増進センター(体育館)	14	85.7	71.4	14.3	35.7	7.1	50.0	28.6	0.0	0.0	0.0
市民文化会館キラリ☆ふじみ(スタジオ)	75	70.7	44.0	17.3	45.3	8.0	53.3	40.0	0.0	1.3	0.0
総合体育館	136	69.9	52.9	30.9	18.4	18.4	31.6	21.3	0.7	1.5	1.5

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。



<クロス集計【施設を選ぶときに重要視すること・公共施設で行う活動】>

公共施設で行う活動別に施設を選ぶときに重要視することをみると、「全体」に対して、「打合せ」や「講義・研究・文芸・語学」、「実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）」などで「立地が良いこと」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)				
		利 用 目 的 に 合 つ た 空 間 を 備 え て い る こ と な ど	使 え る 曜 日 や 時 間 が 活 動 と 合 う こ と	立 地 が 良 い こ と	予 約 が 取 り 易 い こ と	使 い 慣 れ た 施 設 で あ る こ と
全体	716	61.3	41.1	40.6	24.6	24.6
打合せ	62	64.5	30.6	48.4	25.8	30.6
講義・研究・文芸・語学	29	69.0	34.5	55.2	41.4	37.9
体を動かす活動	261	68.6	44.8	38.7	16.1	23.0
軽い運動	40	60.0	42.5	42.5	17.5	15.0
楽器の演奏	72	61.1	41.7	22.2	51.4	8.3
合唱・カラオケ	37	73.0	37.8	43.2	27.0	32.4
演劇	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
調理	3	100.0	0.0	33.3	33.3	66.7
囲碁・将棋・その他 ゲーム	16	43.8	50.0	50.0	31.3	31.3
実技を伴う活動各種	71	46.5	38.0	49.3	26.8	31.0
地域活動	30	56.7	30.0	43.3	16.7	16.7
子育て	8	50.0	37.5	37.5	25.0	25.0
その他	40	47.5	55.0	47.5	32.5	25.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

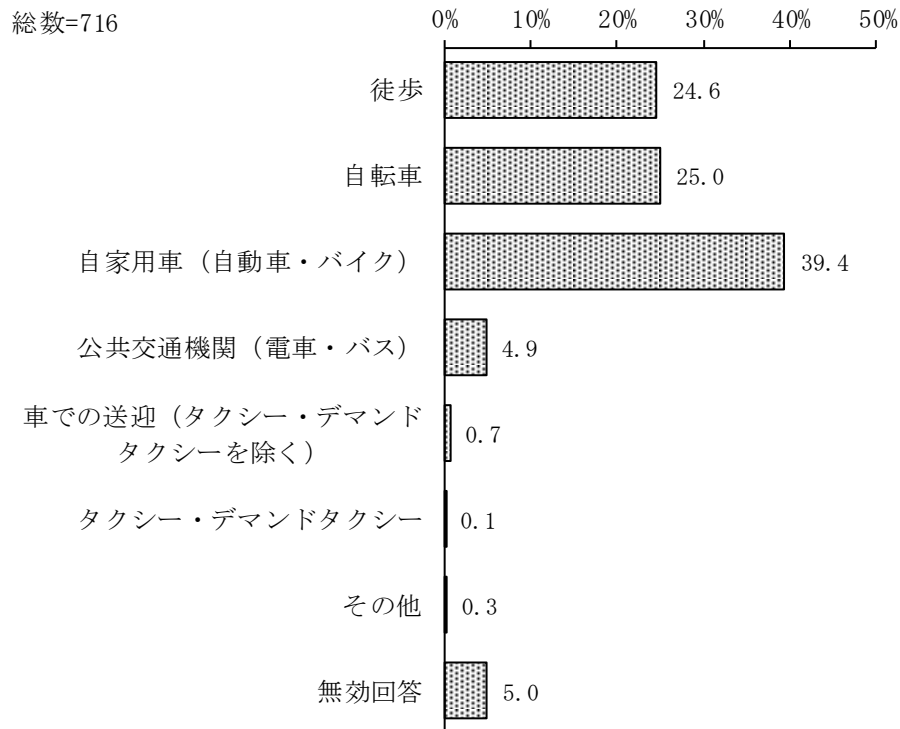
複数回答 (%)

	n	利用料金がほかと比べて安いこと	十分な駐車スペースがあること	公民館として設置されていること	その他	無効回答
全体	716	23.5	19.8	9.6	1.5	2.2
打合せ	62	8.1	21.0	16.1	0.0	1.6
講義・研究・文芸・語学	29	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4
体を動かす活動	261	27.6	19.9	5.4	0.8	2.7
軽い運動	40	27.5	7.5	10.0	2.5	0.0
楽器の演奏	72	48.6	41.7	2.8	1.4	1.4
合唱・カラオケ	37	18.9	27.0	16.2	0.0	0.0
演劇	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
調理	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
囲碁・将棋・その他ゲーム	16	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0
実技を伴う活動各種	71	15.5	14.1	15.5	0.0	0.0
地域活動	30	6.7	10.0	26.7	3.3	0.0
子育て	8	25.0	25.0	0.0	37.5	0.0
その他	40	22.5	15.0	10.0	2.5	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

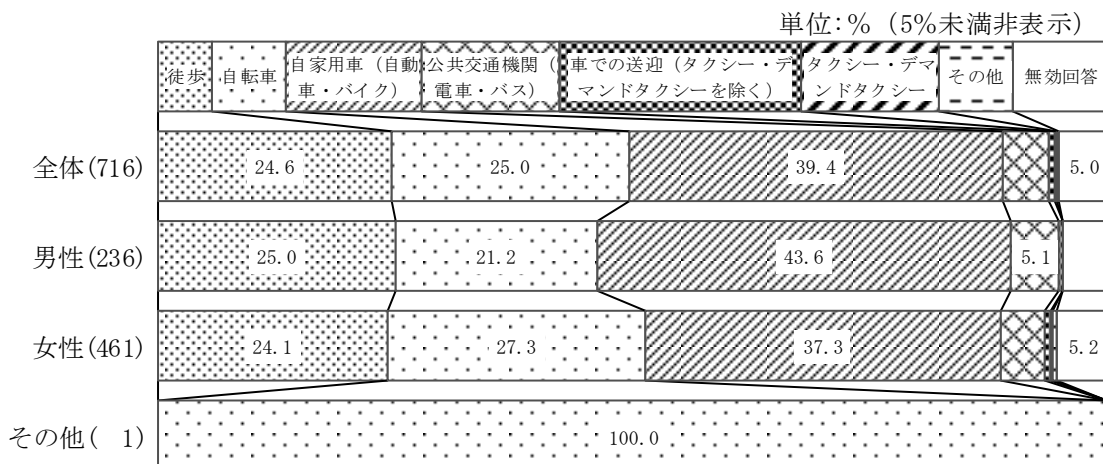
## 問8：公共施設への主な移動手段

一番利用する公共施設への主な移動手段は、「自家用車（自動車・バイク）」の割合が39.4%で最も高く、「自転車」が25.0%、「徒歩」が24.6%、「公共交通機関（電車・バス）」が4.9%と続きます。



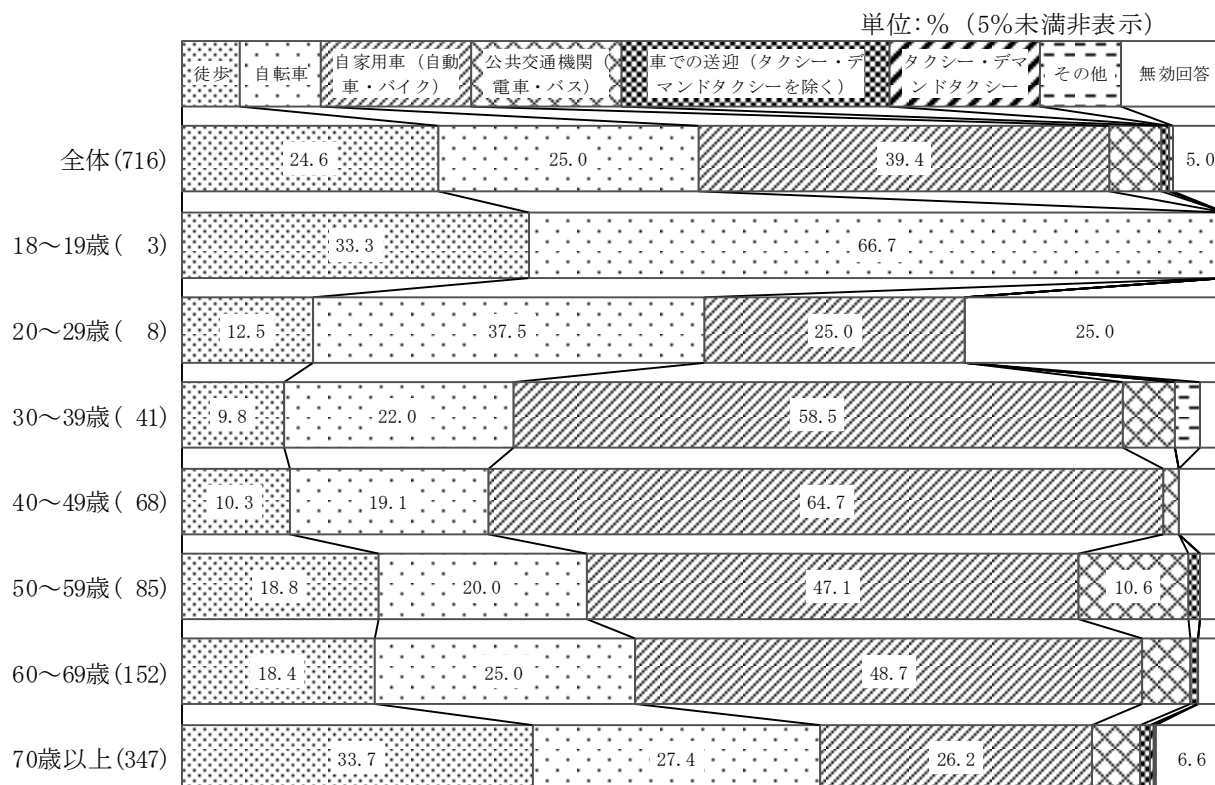
### <クロス集計【公共施設への主な移動手段・性別】>

性別に公共施設への主な移動手段をみると、「女性」より「男性」の方が「自転車」の割合が低く、「自家用車（自動車・バイク）」の割合が高い傾向にあります。



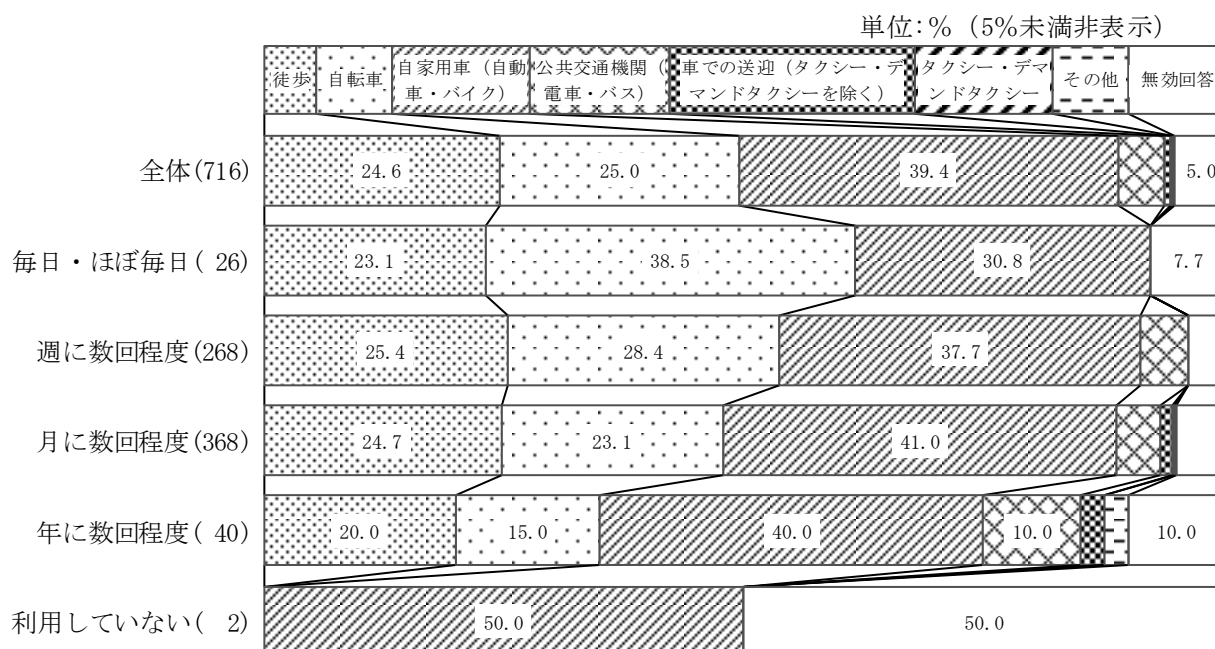
### <クロス集計【公共施設への主な移動手段・年齢層】>

年齢層別に公共施設への主な移動手段をみると、「全体」に対して、「40～49歳」、「30～39歳」の順に「自家用車（自動車・バイク）」の割合が高く、「18～19歳」、「70歳以上」の順に「徒歩」及び「自転車」の合計の割合が高い傾向にあります。



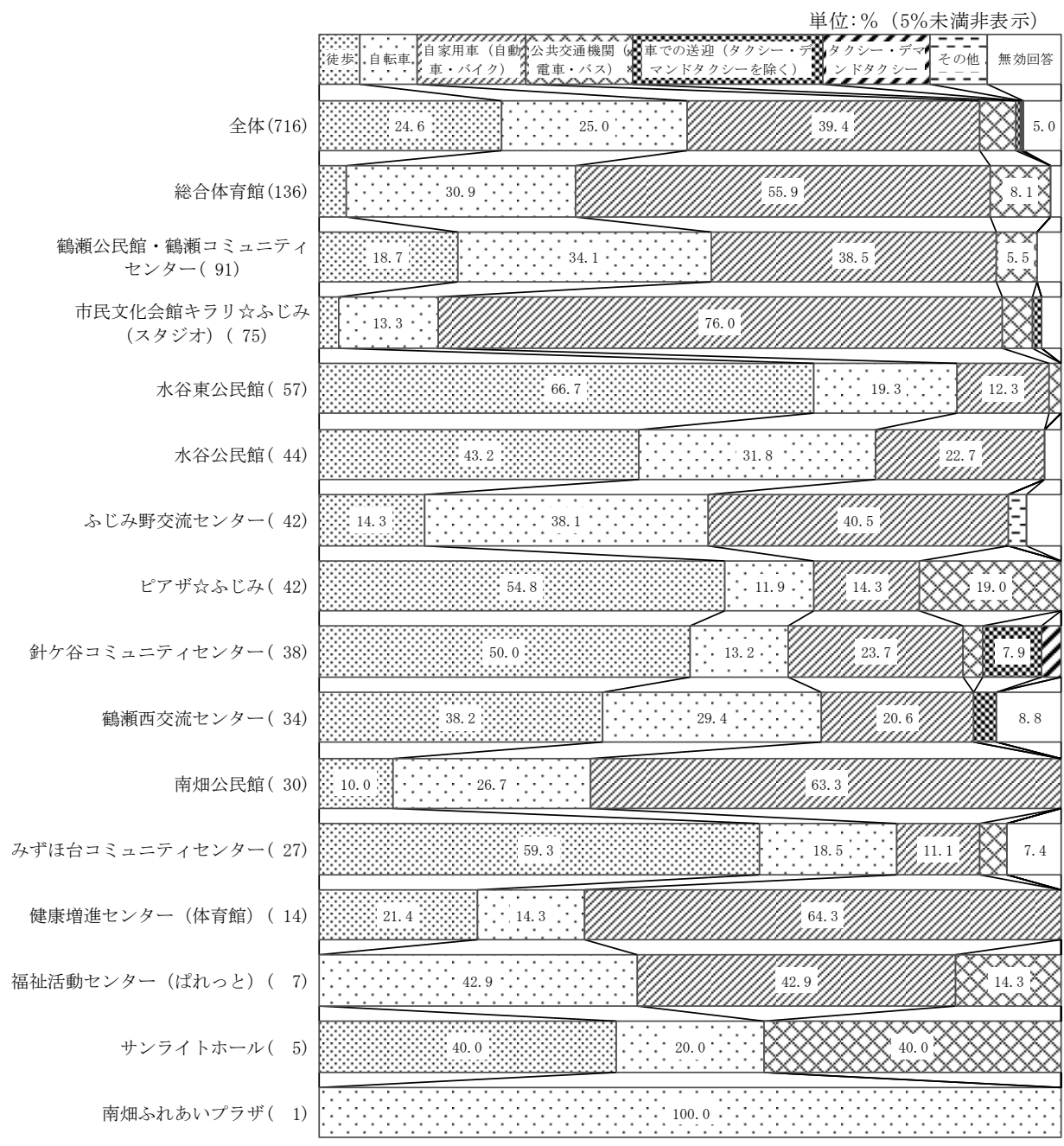
### <クロス集計【公共施設への主な移動手段・利用状況】>

利用状況別に公共施設への主な移動手段をみると、「毎日・ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」の順に「徒歩」及び「自転車」の合計の割合が高い傾向にあります。



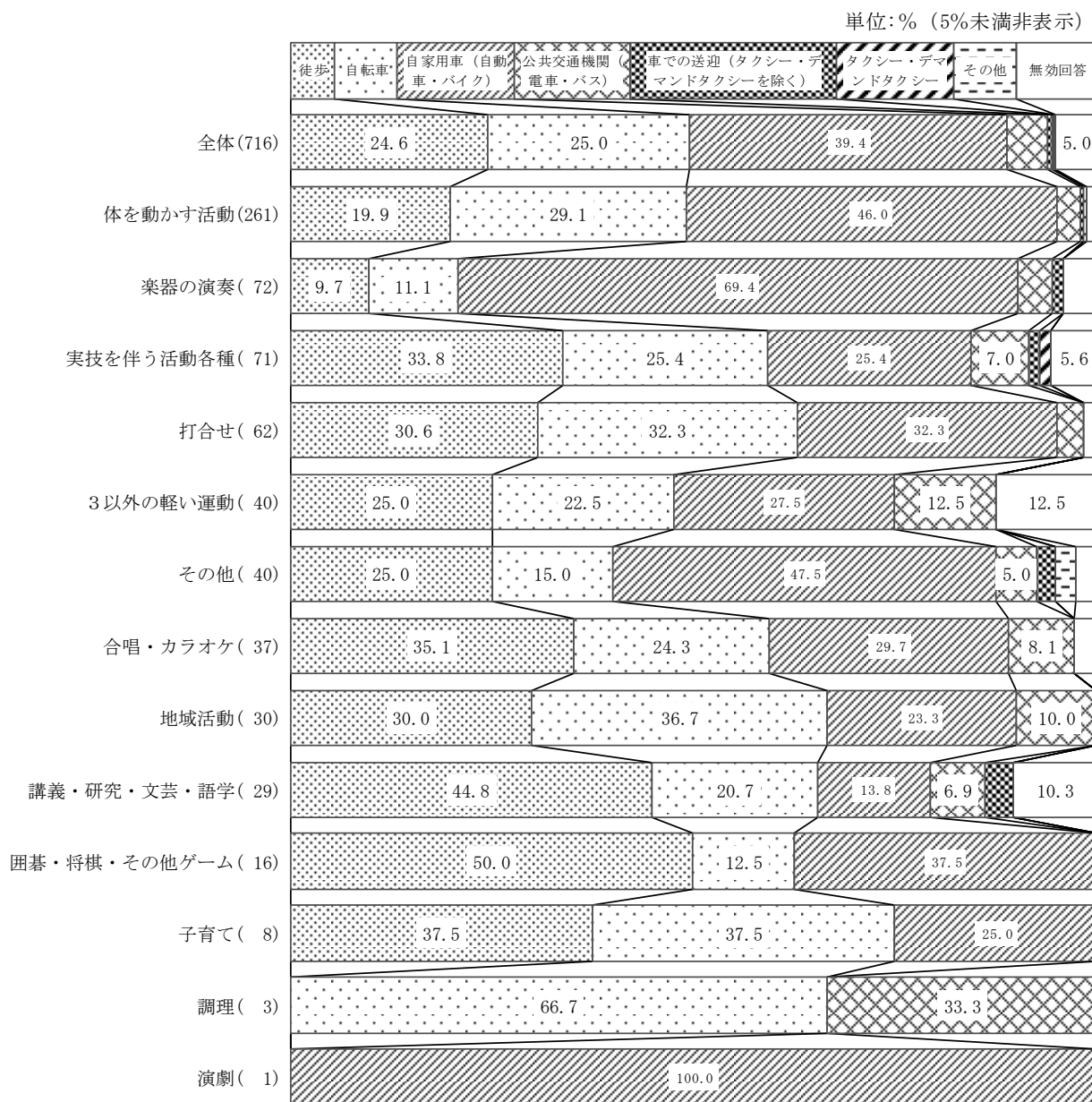
<クロス集計【公共施設への主な移動手段・一番利用した施設】>

一番利用した施設別に公共施設への主な移動手段をみると、「全体」に対して、「水谷東公民館」や「水谷公民館」、「鶴瀬西交流センター」などで「徒歩」及び「自転車」の合計の割合が高い傾向にあります。



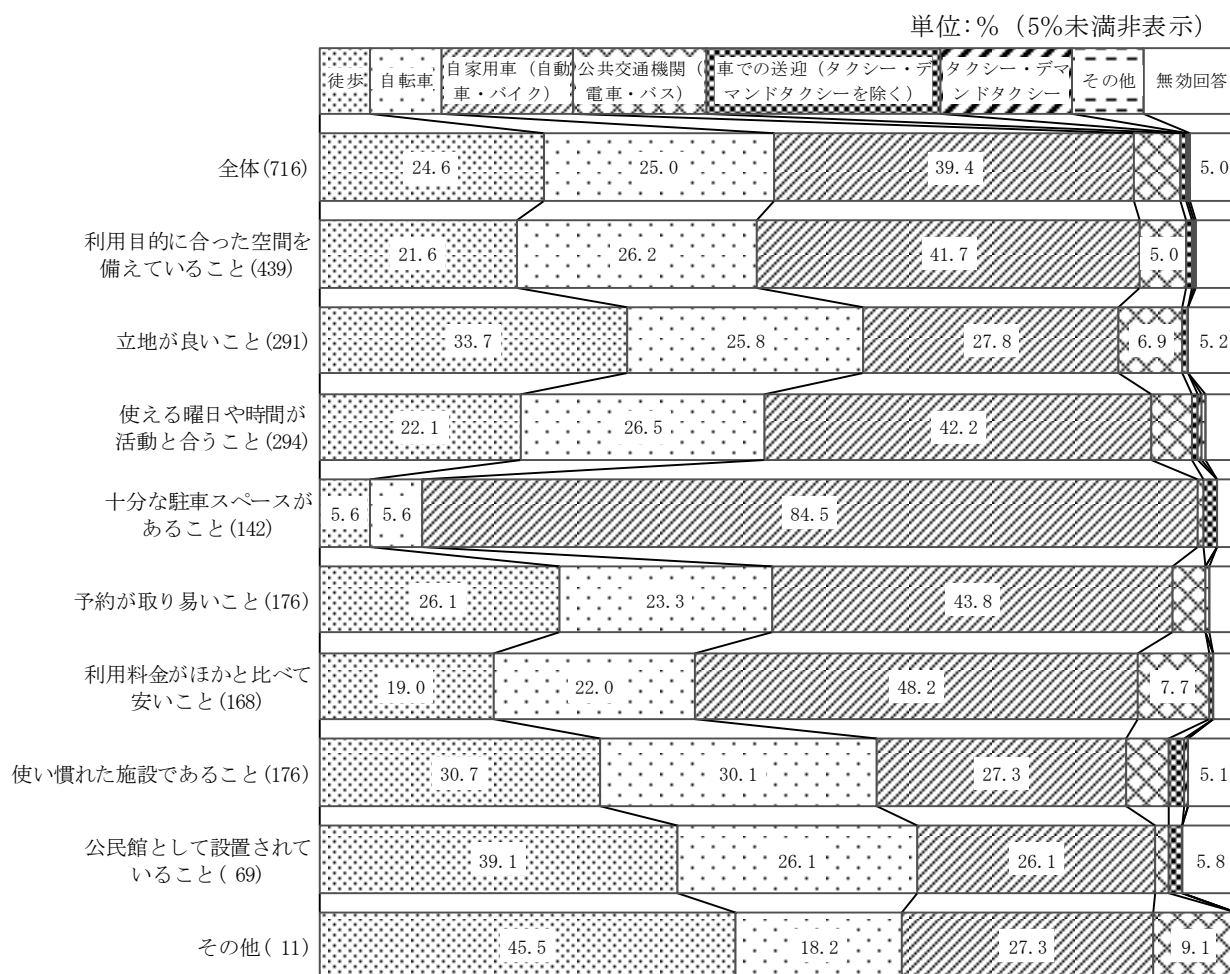
<クロス集計【公共施設への主な移動手段施・公共施設で行う活動】>

公共施設で行う活動別に公共施設への主な移動手段をみると、「全体」に対して、「打合せ」や「講義・研究・文芸・語学」、「地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）」、「子育て（親子の居場所、親子遊びなど）」などで「徒歩」及び「自転車」の合計の割合が高く、「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」や「楽器の演奏」などで「自家用車（自動車・バイク）」の割合が高い傾向にあります。



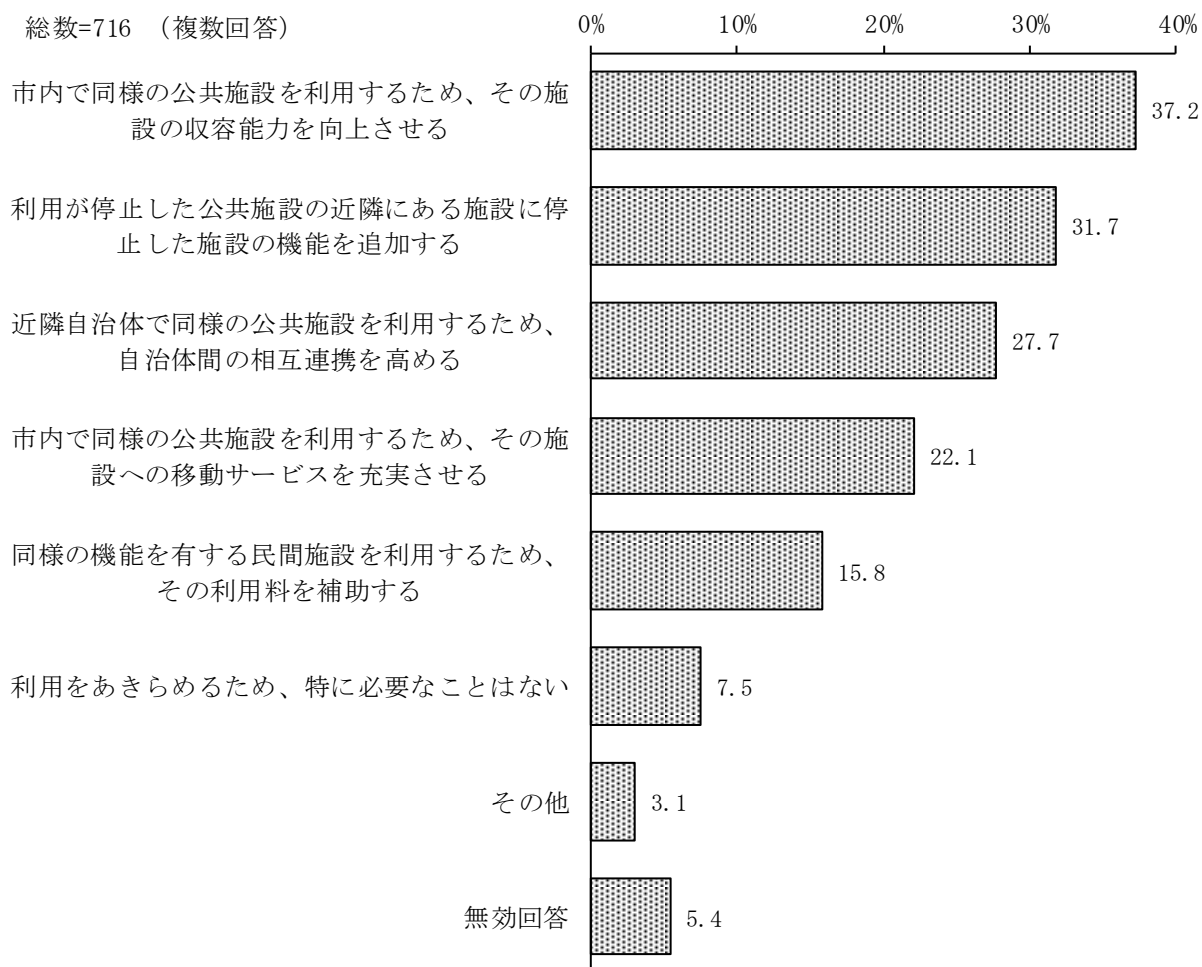
<クロス集計【公共施設への主な移動手段施・施設を選ぶときに重要視すること】>

施設を選ぶときに重要視すること別に公共施設への主な移動手段をみると、「全体」に対して、「立地が良いこと」や「使い慣れた施設であること」、「公民館として設置されていること」などで「徒歩」及び「自転車」の合計の割合が高く、「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」や「十分な駐車スペースがあること」、「利用料金がほかと比べて安いこと」などで「自家用車（自動車・バイク）」の割合が高い傾向にあります。



## 問9：利用停止となった際に必要な措置（複数回答）

一番利用する公共施設が利用停止となった際の措置として必要な事項は、「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる」の割合が37.2%で最も高く、「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」が31.7%、「近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める」が27.7%、「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設への移動サービスを充実させる」が22.1%と続きます。





<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・性別】>

性別に利用停止の際に必要な措置をみると、「女性」より「男性」の方が「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる」や「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設への移動サービスを充実させる」の割合が低く、「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)							
		市内で同様の収容能力を向上させるため、	利用が停止した施設の機能を追加する	近隣、自治体間相互連携を高める	市内で同様の移動サービスを利用するため、	同様の機能を有する民間施設を利用する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
男性	236	36.0	33.1	27.1	17.8	17.8	6.8	4.2	3.4
女性	461	37.3	31.0	28.2	24.3	15.0	7.6	2.4	6.5
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・年齢層】>

年齢層別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「70歳以上」などで「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる」、「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設への移動サービスを充実させる」の割合が高く、「30～39歳」や「40～49歳」などで「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」、「同様の機能を有する民間施設を利用するため、その利用料を補助する」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)							
	n	市内で同様の収容能力を向上させるため、	市内で同様の公共施設の機能を追加する	近隣、自治体間相互連携を高める	市内施設への移動サービスを利用するため、	同様の機能を有する民間施設を利用する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
18～19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	25.0	12.5	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0
30～39歳	41	29.3	41.5	19.5	17.1	26.8	4.9	7.3	7.3
40～49歳	68	36.8	44.1	27.9	11.8	25.0	5.9	2.9	4.4
50～59歳	85	36.5	40.0	42.4	15.3	21.2	3.5	1.2	2.4
60～69歳	152	38.8	36.2	29.6	18.4	13.8	6.6	3.3	3.9
70歳以上	347	38.0	24.8	24.2	28.5	12.1	8.9	3.2	6.6

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・利用状況】>

利用状況別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「毎日・ほぼ毎日」や「週に数回程度」で「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる」、「同様の機能を有する民間施設を利用するため、その利用料を補助する」の割合が高く、「月に数回程度」、「年に数回程度」で「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)								
	n	市内で同様の収容能力を向上させるため、	設用が停止した施設の機能を追加する	ため、自治体間の相互連携を高める	近隣、自治体間の公共施設を利用する	市内で同様の移動サービスを利用するため、	同様の機能を有する民間施設を利用する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4	
毎日・ほぼ毎日	26	38.5	23.1	26.9	7.7	23.1	7.7	11.5	3.8	
週に数回程度	268	39.9	31.3	29.5	22.4	18.3	4.9	3.4	4.9	
月に数回程度	368	36.1	32.9	27.4	23.9	13.6	8.7	2.7	4.6	
年に数回程度	40	25.0	32.5	20.0	12.5	20.0	12.5	0.0	15.0	
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・一番利用した施設】>

一番利用した施設別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「ふじみ野交流センター」や「鶴瀬西交流センター」などで「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)							
		市内施設 の収容 能力を 向上さ せるた め、	市内 施設 の公 共施 設を 利用 する た め、	近隣 自治 体間 の相 互連 携を 高め るた め、	市内 施設 への 移動 サー ビス を充 実さ せる た め、	同様の 機能を 有する 民間施 設を利 用する た め、	利用を あきら めるた め、特 に必要 なこと	その他	無効 回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
鶴瀬公民館・鶴瀬 コミュニティセン ター	91	45.1	33.0	17.6	20.9	14.3	11.0	2.2	5.5
南畑公民館	30	20.0	23.3	20.0	23.3	10.0	6.7	13.3	10.0
水谷公民館	44	29.5	34.1	25.0	27.3	9.1	9.1	2.3	6.8
水谷東公民館	57	29.8	26.3	33.3	31.6	19.3	12.3	7.0	3.5
ふじみ野交流セン ター	42	38.1	40.5	23.8	26.2	7.1	7.1	0.0	4.8
鶴瀬西交流セン ター	34	23.5	50.0	23.5	23.5	8.8	5.9	0.0	8.8
みずほ台コミュ ニティセン ター	27	51.9	22.2	14.8	37.0	0.0	11.1	3.7	3.7
針ヶ谷コミュ ニティセン ター	38	65.8	28.9	15.8	26.3	5.3	7.9	2.6	0.0
サンライトホール	5	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
南畑ふれあいプラ ザ	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ピアザ☆ふじみ	42	35.7	26.2	33.3	31.0	14.3	11.9	2.4	2.4
福祉活動センター (ばれっと)	7	28.6	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
健康増進センター (体育館)	14	50.0	50.0	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0
市民文化会館キラ リ☆ふじみ (スタ ジオ)	75	37.3	40.0	29.3	8.0	18.7	8.0	4.0	4.0
総合体育館	136	34.6	29.4	40.4	18.4	27.9	2.2	2.9	4.4

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・公共施設で行う活動】>

公共施設で行う活動別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「講義・研究・文芸・語学」や「子育て（親子の居場所、親子遊びなど）」などで「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設への移動サービスを充実させる」の割合が高く、「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」や「軽い運動」で「近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める」の割合が高い傾向にあります。

複数回答（％）

	n	市内施設同様の収容能力を向上させるため、	市内施設停止した施設の機能を追加する	近隣自治体間相互連携を高める	市内施設への移動サービスを利用するため、	同様の機能を利用する民間施設を利用する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
打合せ	62	35.5	41.9	19.4	21.0	14.5	4.8	6.5	4.8
講義・研究・文芸・語学	29	37.9	34.5	24.1	37.9	17.2	0.0	0.0	0.0
体を動かす活動	261	39.8	30.3	36.0	19.5	20.7	7.7	1.1	3.4
軽い運動	40	25.0	27.5	37.5	17.5	27.5	5.0	7.5	7.5
楽器の演奏	72	36.1	40.3	26.4	11.1	16.7	4.2	2.8	5.6
合唱・カラオケ	37	45.9	40.5	21.6	43.2	2.7	5.4	0.0	8.1
演劇	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調理	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
囲碁・将棋・その他ゲーム	16	56.3	25.0	12.5	37.5	0.0	6.3	6.3	0.0
実技を伴う活動各種	71	33.8	29.6	26.8	21.1	7.0	14.1	1.4	5.6
地域活動	30	33.3	26.7	13.3	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7
子育て	8	37.5	25.0	0.0	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0
その他	40	32.5	32.5	25.0	25.0	12.5	12.5	5.0	2.5

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・施設を選ぶときに重要視すること】>

施設を選ぶときに重要視すること別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」や「使える曜日や時間が活動と合うこと」、「十分な駐車スペースがあること」などで「近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)							
	n	市内施設と同様の収容能力を向上させるため、	市内施設への移動サービスを利用する	近隣自治体間の相互連携を高める	市内施設への移動サービスを利用する	同様の機能を有する民間施設を利用する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること	439	41.5	33.7	29.8	21.0	18.2	6.6	2.5	4.6
立地が良いこと	291	37.1	30.6	23.7	28.5	16.2	8.9	3.8	5.5
使える曜日や時間が活動と合うこと	294	38.8	37.1	31.6	21.1	20.1	4.8	1.7	4.4
十分な駐車スペースがあること	142	35.9	38.0	32.4	14.8	19.7	6.3	2.8	3.5
予約が取り易いこと	176	46.6	33.0	23.3	26.1	15.3	6.3	2.3	1.1
利用料金がほかと比べて安いこと	168	36.3	33.3	31.5	18.5	20.8	7.1	5.4	3.0
使い慣れた施設であること	176	34.7	34.1	26.1	28.4	11.9	9.7	3.4	5.7
公民館として設置されていること	69	33.3	23.2	18.8	26.1	10.1	11.6	4.3	8.7
その他	11	0.0	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1	54.5	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【利用停止の際に必要な措置・公共施設への主な移動手段】>

公共施設への主な移動手段別に利用停止の際に必要な措置をみると、「全体」に対して、「徒歩」や「自転車」などで「市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる。」の割合が高く、「自家用車（自動車・バイク）」などで「利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する」や「近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める」の割合が高い傾向にあります。

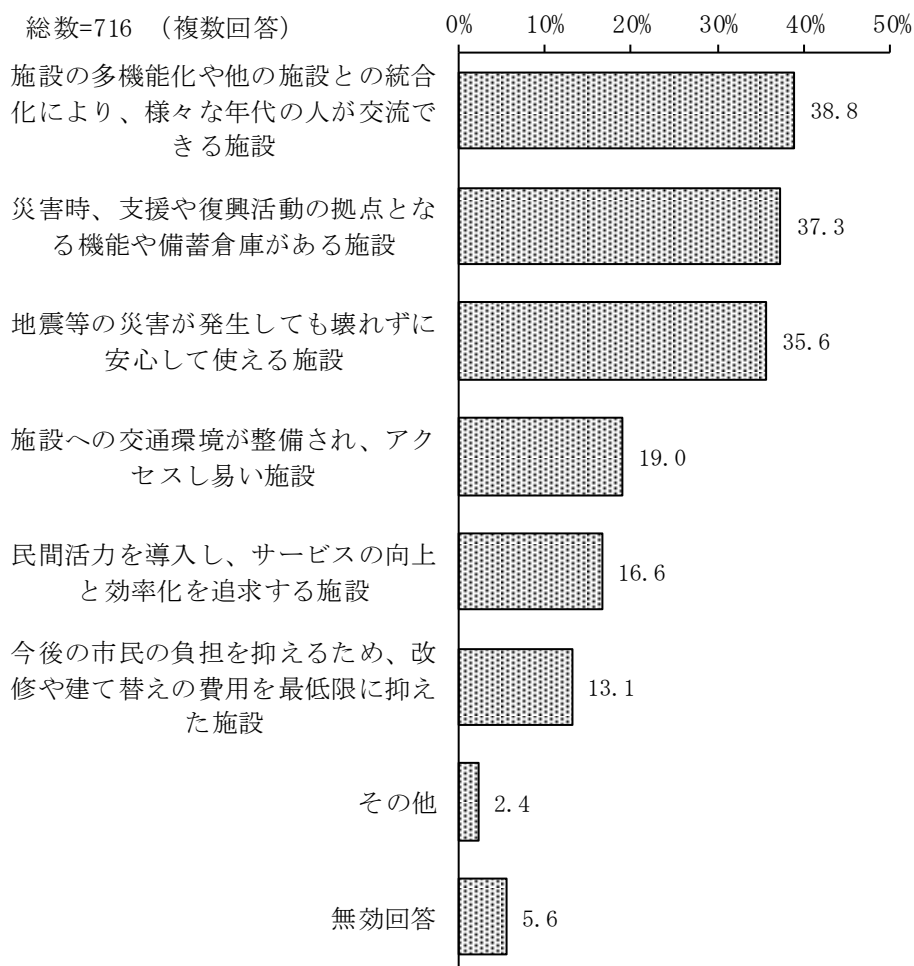
複数回答（%）

	n	その市内施設同様の収容能力を向上させるため、	市内で同様の公共施設の機能を追加する	近隣自治体間相互連携を高める	市内施設への移動サービスを充実させる	同様の機能を有する民間施設を利用するため、その利用料を補助する	利用をあきらめるため、特に必要なこと	その他	無効回答
全体	716	37.2	31.7	27.7	22.1	15.8	7.5	3.1	5.4
徒歩	176	39.2	31.3	29.0	30.1	10.8	9.7	4.0	2.3
自転車	179	41.3	30.2	27.4	22.9	16.8	6.7	1.1	6.1
自家用車（自動車・バイク）	282	37.6	35.5	29.4	13.5	19.5	5.3	3.2	3.9
公共交通機関（電車・バス）	35	25.7	28.6	28.6	42.9	11.4	11.4	8.6	0.0
車での送迎（タクシー・デマンドタクシーを除く）	5	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
タクシー・デマンドタクシー	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

## 問10：改修や建て替えの際の要望（複数回答）

一番利用する公共施設について、改修や建て替えの際の要望は、「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」の割合が38.8%で最も高く、「災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設」が37.3%、「地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設」が35.6%、「施設への交通環境が整備され、アクセスしやすい施設」が19.0%と続きます。





<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・性別】>

性別に改修や建て替えの際の要望をみると、「女性」より「男性」の方が「地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設」や「施設への交通環境が整備され、アクセスしやすい施設」などの割合が低く、「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」などの割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)							
	n	よ 施 設 の 多 機 能 化 や 他 の 施 設 と の 統 合 化 に	能 災 害 時 、 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	し 地 震 等 の 災 害 が 発 生 し て も 壊 れ ず に 安 心	し 施 設 へ の 交 通 環 境 が 整 備 さ れ 、 ア ク セ ス	率 民 間 活 力 を 導 入 し 、 サ ー ビ ス の 向 上 と 効	建 今 後 の 市 民 の 費 用 を 最 低 限 に 抑 え る た め 、 改 修 や	そ の 他	無 効 回 答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6
男性	236	46.6	32.6	23.7	15.7	20.3	14.8	3.0	6.8
女性	461	34.5	40.1	41.6	20.2	15.0	12.6	2.2	5.0
その他	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・年齢層】>

年齢層別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「18～19歳」や「70歳以上」などで「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」の割合が高く、「20～29歳」や「60～69歳」などで「今後の市民の負担を抑えるため、改修や建て替えの費用を最低限に抑えた施設」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)							
	n	よ 施 設 の 多 機 能 化 や 他 の 人 が 交 流 で き る 施 設 に	能 災 害 時 、 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	し 地 震 等 の 災 害 が 発 生 し て も 壊 れ ず に 安 心	し 施 設 へ の 交 通 環 境 が 整 備 さ れ 、 ア ク セ ス	率 民 間 活 力 を 導 入 し 、 サ ー ビ ス の 向 上 と 効	建 今 後 の 市 民 の 負 担 を 抑 え る た め 、 改 修 や	そ の 他	無 効 回 答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6
18～19歳	3	100.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0	12.5
30～39歳	41	26.8	29.3	43.9	14.6	31.7	7.3	0.0	9.8
40～49歳	68	39.7	39.7	32.4	20.6	20.6	11.8	1.5	5.9
50～59歳	85	29.4	43.5	44.7	20.0	30.6	12.9	1.2	1.2
60～69歳	152	36.2	40.1	36.2	16.4	16.4	15.1	3.3	2.6
70歳以上	347	42.4	35.7	32.9	19.9	11.0	13.5	2.9	7.2

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・利用状況】>

利用状況別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「毎日・ほぼ毎日」や「年に数回程度」などで「民間活力を導入し、サービスの向上と効率化を追求する施設」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)								
	n	よ り、 様 々 な 年 代 の 人 が 交 流 で き る 施 設 に	施 設 の 多 機 能 化 や 他 の 施 設 と の 統 合 化	能 災 害 時 、 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	し 地 震 等 の 災 害 が 発 生 し て も 壊 れ ず に 安 心	し 施 設 へ の 交 通 環 境 が 整 備 さ れ 、 ア ク セ ス	率 民 間 活 力 を 導 入 し 、 サ ー ビ ス の 向 上 と 効	建 今 後 の 市 民 の 費 用 を 最 低 限 に 抑 え る た め 、 改 修 や	そ の 他	無 効 回 答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6	
毎日・ほぼ毎日	26	42.3	34.6	30.8	11.5	26.9	19.2	0.0	3.8	
週に数回程度	268	39.2	37.7	39.2	16.8	16.0	13.8	3.0	5.6	
月に数回程度	368	39.4	38.0	34.0	21.2	15.8	12.8	2.4	4.1	
年に数回程度	40	27.5	30.0	30.0	20.0	25.0	10.0	0.0	17.5	
利用していない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・一番利用した施設】>

一番利用した施設別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「針ヶ谷コミュニティセンター」や「ピアザ☆ふじみ」などで「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」の割合が高い傾向にあります。

		複数回答 (%)							
	n	よ り、 施 設 の 多 機 能 化 や 他 の 人 が 交 流 で き る 施 設 に	能 災 害 時 、 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	し 地 震 等 の 災 害 が 発 生 し て も 壊 れ ず に 安 心	し 施 設 へ の 交 通 環 境 が 整 備 さ れ 、 ア ク セ ス	率 民 間 活 力 を 導 入 し 、 サ ー ビ ス の 向 上 と 効	建 今 後 の 市 民 の 費 用 を 最 低 限 に 抑 え る た め 、 改 修 や	そ の 他	無 効 回 答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6
鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター	91	40.7	36.3	34.1	16.5	13.2	19.8	5.5	3.3
南畑公民館	30	43.3	36.7	36.7	13.3	10.0	16.7	3.3	0.0
水谷公民館	44	38.6	52.3	20.5	13.6	9.1	13.6	0.0	9.1
水谷東公民館	57	40.4	45.6	45.6	10.5	21.1	8.8	5.3	1.8
ふじみ野交流センター	42	33.3	45.2	52.4	16.7	21.4	4.8	0.0	4.8
鶴瀬西交流センター	34	47.1	32.4	14.7	14.7	17.6	8.8	0.0	17.6
みずほ台コミュニティセンター	27	44.4	44.4	37.0	14.8	7.4	14.8	3.7	0.0
針ヶ谷コミュニティセンター	38	50.0	47.4	28.9	18.4	13.2	7.9	2.6	2.6
サンライトホール	5	80.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南畑ふれあいプラザ	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ピアザ☆ふじみ	42	50.0	23.8	33.3	35.7	19.0	7.1	2.4	0.0
福祉活動センター(ぱれっと)	7	57.1	42.9	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0
健康増進センター(体育館)	14	35.7	35.7	50.0	7.1	21.4	28.6	0.0	0.0
市民文化会館キラリ☆ふじみ(スタジオ)	75	29.3	38.7	32.0	21.3	20.0	17.3	1.3	6.7
総合体育館	136	33.8	33.1	44.1	22.8	24.3	12.5	0.7	2.9

※全体の票数nに無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・公共施設で行う活動】>

公共施設で行う活動別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「打合せ」や「講義・研究・文芸・語学」、「地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）」などで「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答 (%)							
		よりの多様な年代の他の施設との統合化に	施設の多機能化や他の施設との統合化に	災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設	地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設	施設への交通環境が整備され、アクセス	民間活力を導入し、サービスの向上と効率化を追求する施設	今後の市民の負担を抑えるため、改修や建て替えの費用を最低限に抑えた施設	その他
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6
打合せ	62	46.8	48.4	33.9	12.9	12.9	11.3	3.2	4.8
講義・研究・文芸・語学	29	51.7	24.1	27.6	34.5	3.4	6.9	3.4	10.3
体を動かす活動	261	36.0	37.2	42.9	21.1	16.9	13.0	1.5	3.1
軽い運動	40	27.5	45.0	30.0	17.5	25.0	22.5	2.5	5.0
楽器の演奏	72	36.1	31.9	20.8	18.1	22.2	16.7	4.2	9.7
合唱・カラオケ	37	32.4	35.1	56.8	24.3	16.2	18.9	0.0	2.7
演劇	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調理	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
囲碁・将棋・その他ゲーム	16	37.5	43.8	31.3	18.8	18.8	6.3	0.0	0.0
実技を伴う活動各種	71	39.4	43.7	33.8	23.9	9.9	11.3	2.8	5.6
地域活動	30	60.0	46.7	26.7	10.0	3.3	10.0	3.3	0.0
子育て	8	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0
その他	40	40.0	30.0	32.5	12.5	30.0	10.0	2.5	5.0

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・施設を選ぶときに重要視すること】>

施設を選ぶときに重要視すること別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「使える曜日や時間が活動と合うこと」や「利用料金がほかと比べて安いこと」などで「民間活力を導入し、サービスの向上と効率化を追求する施設」の割合が高く、「使い慣れた施設であること」などで「災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設」、「地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設」の割合が高い傾向にあります。

複数回答 (%)

	n	よりの様々な年代の人の交流とできる施設に	施設の多機能化	災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設	地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設	施設への交通環境が整備され、アクセスしやすい施設	民間活力を導入し、サービスの向上と効率化を追求する施設	今後の市民の負担を抑えるため、改修や建て替えの費用を最低限に抑えた施設	その他	無効回答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6	
必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること	439	41.2	37.1	39.0	18.7	18.7	13.2	2.3	4.6	
立地が良いこと	291	40.9	39.2	36.4	22.7	16.2	11.7	2.1	3.8	
使える曜日や時間が活動と合うこと	294	39.5	37.8	38.4	20.4	20.1	13.9	2.4	3.7	
十分な駐車スペースがあること	142	35.9	32.4	43.0	25.4	18.3	14.8	1.4	3.5	
予約が取り易いこと	176	42.0	40.3	32.4	21.0	17.6	15.3	1.1	4.0	
利用料金がほかと比べて安いこと	168	37.5	37.5	32.1	19.6	21.4	17.9	1.8	3.6	
使い慣れた施設であること	176	38.1	48.9	43.2	18.2	8.5	12.5	2.8	4.5	
公民館として設置されていること	69	37.7	46.4	39.1	17.4	5.8	5.8	4.3	7.2	
その他	11	36.4	45.5	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

<クロス集計【改修や建て替えの際の要望・公共施設への主な移動手段】>

公共施設への主な移動手段別に改修や建て替えの際の要望をみると、「全体」に対して、「公共交通機関（電車・バス）」や「車での送迎（タクシー・デマンドタクシーを除く）」などで「施設への交通環境が整備され、アクセスしやすい施設」の割合が高い傾向にあります。

	n	複数回答（％）												
		よりの様々 多様な 年代や 他の人 が交流 ので きる 施設に	施設 の多 機能 化や 他の 施設 との 統合 化	能や 災害 時、 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	災 害 時 の 支 援 や 復 興 活 動 の 拠 点 と な る 機	し て 使 え る 施 設	地 震 等 の 災 害 が 発 生 し て も 壊 れ ず に 安 心	し 易 い 施 設	施 設 へ の 交 通 環 境 が 整 備 さ れ 、 ア ク セ ス	率 民 間 活 力 を 追 求 す る 施 設	建 て 替 え の 市 民 の 費 用 を 最 低 限 に 抑 え た 施 設	今 後 の 市 民 の 負 担 を 抑 え る た め 、 改 修 や	そ の 他	無 効 回 答
全体	716	38.8	37.3	35.6	19.0	16.6	13.1	2.4	5.6					
徒歩	176	46.6	44.3	36.4	16.5	14.2	11.4	2.3	2.3					
自転車	179	40.8	43.0	31.8	14.5	14.5	14.5	3.9	3.4					
自家用車（自動車・バイク）	282	36.9	31.9	40.1	19.1	19.9	13.5	1.4	5.7					
公共交通機関（電車・バス）	35	28.6	31.4	31.4	51.4	22.9	14.3	0.0	0.0					
車での送迎（タクシー・デマンドタクシーを除く）	5	0.0	40.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0					
タクシー・デマンドタクシー	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0					

※全体の票数 n に無効回答を含んでいるため、内訳の合計とは一致しません。

## 問 11：公共施設に関する自由記述

○公共施設に関する自由記述に記載された要望・意見等を抜粋し、以下に記載します。

○原則として記載内容のまま掲載していますが、文意が変わらない範囲で要約や編集を行っている場合があります。

### 【公共施設の統廃合等について】

- 1) あまり利用されていない施設は廃止して、保育園にするか介護施設にするか、他の不足している事業へ転換すると良いと思います。
- 2) 子どもの数が少なくなっているので、学校の教室を利用しても良いと思います。
- 3) 公民館の代わりに集会所を容易に利用できれば公民館でなくとも集団の活動は出来ると思うし、利用の少ない集会所の有効利用になると思う。誰でも容易に利用できる仕組みを考えてもらいたい。市の全体のことを考えれば、施設に多くの金を使うのは難しい。
- 4) 全体として小規模で施設数が多い。駐車場を確保したうえで、機能を高めた大規模のものに集中させた方が、利便性が高まると考えます。
- 5) 公共施設の使用に当たり、利便性が第1と考えます。児童から高齢者まで、交流の輪が広がる複合型のコミュニティセンターがあれば、公民館などの統廃合は可能ではないでしょうか。まずはブロック分けして検討はいかがでしょうか。
- 6) 小中を統合しての施設や、幼保も含めた教育、育成施設も考えたかどうか。貸館施設は統合していく。できるだけ利便性の良いところに設置する。集会所の機能を高めて多様化を図っていく。何でも使える方が良い。
- 7) 使われていない施設が多すぎる。もっと統合して、集中して有効な税金の使い方をしてほしい。
- 8) 民間企業の経営を参考にして、無駄をなくし、効率よく運営した方が良いと思います。今後、市の収入が減ることが分かっているのですから。まず、人件費を減らして、施設の統合化も必要だと思います。ランニングコストがかからない対策も考えていくべきです。

### 【公共施設の維持について】

- 9) 私たちは至れり尽くせりの施設利用をさせて頂いていますが、これから使用する人たちは老朽化している施設を使用もできず、楽しみ方もなくなります。困ります。
- 10) 近くにあるということがとてもありがたいと思っています。そのため統合化等々賛成できません。この市で生活する上で、公共施設の充実は欠かせないと感じています。
- 11) 今利用している施設より遠くなると、通うのが大変なため利用回数も減少し体力維持ができなく楽しみもなくなり心配である。
- 12) ボランティア活動で公共施設を利用しているので、なくなる、統合される等はとても困ります。また、趣味等で利用している人にとっても、コミュニティの場がなくなる、又は、統合して遠くなることは、辛いと思います。富士見市は、交通の便がとても悪いので、近くの公共施設がなくならないよう、配慮していただきたいです。
- 13) 何かある度に公民館を利用し、住民の相互の理解を深め、交流の場となっております。公民館は、この地域にとって無くてはならない施設です。



- 14) 富士見市は公共施設が充実していて、とても住みやすいし、子育てもしやすい環境にあると思います。確かにあまり機能していない施設は停止することも大事ですが、財源を確保するため、部屋の稼働率を上げるとか、個人でも予約出来るようにするなど努力が必要だと思います。大事な施設なので存続を望みます。
- 15) 地域の事業を行うには拠点となる施設がどうしても必要である。施設がないということになれば地域の活動、打合せ準備等ができなくなるということであり、市民サービスで行っている部分は市でカバーするべきである。地域の事業の計画、準備等を市役所で全て行ってもらえれば市民は参加するだけで済む。
- 16) 様々な年代の方々が安価で使うためには是非公共施設を守ってください。利用料金は値上げしても良いと思う。民間に比べたらまだ安すぎるから、安心して使えることを望みます。高齢者にとっては地域に出て行く場でもあります。
- 17) 公民館は、地域の人々が集い、学び合い、交流し合う貴重な場になっています。私もサークル活動やボランティアなどで度々利用しますが、公民館は、担当職員がいて指導してくれたり、相談に乗ってくれたり、無くてはならない存在になっています。特に、高齢者学級に参加しているお年寄りや子育てサークルに属する若いママ達にとっては、「ひとりぼっち」を作らないための大切な場所です。

#### 【公共施設の安心・安全について】

- 18) 災害時に必要な建物と思います。安心して使える施設にしてください。
- 19) 公共施設を利用する際は、安全で安心して活動できることが重要です。自然災害（地震、台風など）にも耐えられるような施設にしていきたいです。
- 20) 老朽化した施設の安全面を第一とした改修等を望みます。統合化はやむを得ないかと考えますが、その時には高齢者のアクセスも重視した施策を考えていただきたいです。高齢者にとっては近くて、安全な施設が望まれます。近隣の市町村との統一した移動サービスの実施を強く望みます。

#### 【公共施設の使い方について】

- 21) 市の魅力を出すには、若者が興味を持つところを重要視すべき。ジムの充実やカルチャースクールは重要。全てを満足することは無理を生じる。選択し魅力を出してもらいたい。
- 22) 安全、安心、多機能はもちろんのことですが、老若男女、色んな世代の方達が交流できるのが良いと思います。若い子からの相談をベテラン世代が受ける、若しくはその逆も。「ここに行けば誰かがいる」的な存在が嬉しい。
- 23) そこ、ここの公共施設は年間行事を決め充実した行事もあるが消化しているだけの行事もある。民間に委託すればもっと良くなるような気がする。いつも同じ子どもや大人が利用している（広く声かけが必要）。施設内も外回りエントランスも綺麗なところもあるが、雑草が生い茂っているところもある（年寄りのボランティアを活用する方法を考える（私も含め））。

### 【公共施設の運営について】

- 24) 富士見市だけの利用を考えるのではなく、近隣のふじみ野市等との共同利用で費用を抑えた方が良い。
- 25) 民間活力（PFI 等）の導入を積極的に検討すべき。
- 26) 子どもが自由に遊べる空間が欲しい。カフェなど飲食スペースの併設をして欲しい。
- 27) 予算の問題は本当に大きな事ですが、民間の導入は賛成できません。他の自治体で図書館に導入したことで、本来の図書館の役割が置き去りにされたことも報道されました。利益と効率の追求になってはいけないと思います。
- 28) 施設の温度設定の緩和を希望いたします。35℃を超える猛暑日においても温度設定が固定で調整されません。体内温度調節がしづらい高齢者は熱中症になるおそれもあります。利用者が体調不良とならないよう、柔軟な温度調整を切実に願います。
- 29) 公共施設は一定の地域ごとに必要なもので民間施設にその役は担えないと思う。
- 30) 現場の声が集まりにくい現状の改善を求めます。紙に書くだけでなく QR コードからアンケート解答ができたり、その施設で働く方が聞いたお客様の声を集める活動があると、より良いと思います。

### 【公共施設の利用について】

- 31) 各集会所の空きがあるのに管理者と連絡を取るのが大変で使いにくい。公民館とコミセンの統括しているところが違うので、対応が遅い。戸惑うことがある。
- 32) 最近各市ではかなり色々な観点からの充実した施設ができていますが、利用者からは予約が取りやすいことが重要だと思います。競争率が高すぎでは意味がありません。
- 33) 公民館やコミセンなどたくさんあるのは、富士見市の良いところだと思います。市外の人でも使用できたり、もっと稼働率を上げるよう窓口をもっと広げると良いのでは。サークル登録せず気軽に個人で借りられたり、使用制限を減らしたりしてみてもどうでしょう。
- 34) 私のよく利用する公共施設では、有料団体と無料団体の2つの団体登録があるのですが、この無料団体の中にちょっとおかしいと思うような団体がある。
- 35) 私は地域のための公民館利用が多いのですが、導入した予約システムの扱いについて、特定の予約利用者が予約を毎月入れて年間で利用していて、思うように予約ができない。利用する団体の利用回数を制限してみたり、平等に利用できるように予約の方法の変更を希望します。
- 36) 公共施設がなかなか思い通り使用できません（抽選外れ）。ところが当日にその場所が使用されず空室になっています。このように空室にしておかず、使用希望団体に連絡する等の方法を考えてください。
- 37) 公民館の利用制限を見直しすべき。

### 【公共施設への移動について】

- 38) 自転車なのであまり遠い、不便なところだと通えなくなる。出来れば駅に近いところ、いつまで自転車に乗れるか分からないので。
- 39) 大分年をとりまして、自転車と徒歩で来館するのが大変になってきましたので、バス等の公共交通、移動の手段を考えてください。
- 40) イベント時の駐車場を確保してほしいです（近くの学校等）。
- 41) 駐車場のスペースを増やしてほしい。

### 【その他】

- 42) 受益者負担を考えるべき。税金等を使って運営されているのであれば、使用する者に多く負担をしていただくことを考えるべきかと思います。
- 43) 改修等で利用料金が上がるなど負担が増えるのはやむを得ないと思うが、市民か市民でない人かで利用料金は分けてほしい。
- 44) 公民館や交流センターなどの自主企画事業が減少し、場所貸し的な施設になってきているのは問題です。市民やNPO等がもっと企画に参画し、地域福祉や社会教育、異文化交流（在日外国人との）、地域防災など市民ニーズに合致した事業、活動を積極的に展開できるような環境にしてほしいと思います。人口減少や超高齢化社会の将来に備え、小中学校の空き教室、空き商店や空き民家が増加しているので、その活用が重要だと思います。交流カフェやスタジオなどにリニューアルして市の公共施設と連携した地元密着の施設として活用できるよう、企画、運営する人材の育成も含め、検討、推進していただければと思います。
- 45) 公共施設は地域活動の貴重な社会資源。利用率の低さで容易に廃止すべきではない。市の各課で重複する事業を整理して財源を確保し、管理費も効率化しながら、できる限り維持すべき。やむなく維持できない場合は、近隣の集会所、学校施設、高齢者施設等に改修費を投じ、併設、複合型の施設にするなどし、活動スペースを確保すべき。管理人件費は複合化することで押さえられるが、最低限の人材は確保が必要。利用に関する規制を緩和し、市民の利用率が低い時間帯の民間営利団体の利用を促進し、一般より高い費用で利用できるようにすることで、財源、確保を進めてはどうか。多様な団体が利用することで、稼働率も高くなり、その分を管理費に回すと良いと考える。

### 3. 考察

#### <公共施設の利用者について：問1・問2>

施設利用者は高齢者と女性が多く、男性では70歳以上の割合が高い。

- 施設利用者は、「女性」が3分の2を占め、その年齢層は、「70歳以上」が4割程度、「60～69歳」が2割程度と続き、年齢が高いほど、割合が高くなる傾向があり、この年齢層の傾向は「男性」も同様です。ただし、「男性」では、「70歳以上」が6割を占めるところに特徴があり、50歳以上が施設利用者の9割を占めます。一方、「女性」では、49歳以下の施設利用者が2割程度であり、同じ年齢層の「男性」に対して、1割程度、割合が高くなっています。

#### <公共施設全般の利用状況について：問3>

70歳以上は、公共施設での活動を生活時間の中で必要としている。

- 施設利用者の利用頻度は、「月に数回程度」が5割程度を占めます。一方で、「毎日・ほぼ毎日」及び「週に数回程度」が4割程度を占めます。これら「月に数回程度」より高い頻度の施設利用者が9割以上を占めます。特に、「70歳以上」では、「毎日・ほぼ毎日」及び「週に数回程度」の割合が5割近くなり、「全体」に対して1割程度高くなることから、「70歳以上」の施設利用者にとって、公共施設での活動を生活の中で必要としていることが推察されます。

#### <今後の市の公共施設に対する方策について：問4>

施設利用者も公共施設を維持するための取組について肯定的である。

- 今後の市の公共施設に対する方策について、市民意識調査では、縮減や維持のための各方策について、「実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」（以下「肯定的な回答」という。）の割合が高い傾向となっていました。本調査でもほぼ同様の傾向であり、「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する」については市民意識調査を上回る肯定的な回答が得られたことから、施設利用者も公共施設を維持するための取組について肯定的であることが推察されます。

縮減・維持のための方策に対しては肯定的だが、財源負担に関しては否定的である。

- 今後の市の公共施設に対する方策については、縮減・維持のための方策に対して、肯定的な回答の割合がいずれも過半を超えています。一方、「⑥特別な税金を徴収して財源を確保する」に対しては、「実施すべきでない」及び「どちらかといえば実施すべきでない」（以下「否定的な回答」という。）の割合が8割程度を占めることから、現在の財源の枠を超えることは難しいと考えられます。

70歳以上は、公共施設が減ることに否定的で、30～39歳は利用料の値上げに否定的である。

- 年齢層別に方策に対する賛否の傾向をみると、縮減方策に対しては「70歳以上」の肯定的な回答の割合が低く、維持方策に対しては「70歳以上」の肯定的な回答の割合が高い傾向にあることから、「70歳以上」の施設利用者にとって、経費削減や利用料値上げなどの方策で公共施設を維持して欲しいと考える傾向があり、公共施設が減ることについて、受け入れづらいことが推察されます。また、「⑤利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。」といった利用料を値上げする方策に対して、「30～39歳」は否定的な回答の割合が6割程度を占めています。

## **<一番利用した施設について：問5>**

### **70歳以上は、地域に密着した施設を利用している割合が高い。**

- 利用登録ができる公共施設（建物）のうち、一番利用した施設では、「総合体育館」や「市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）」といった特別な用途の特徴を持つ施設の割合が3割程度を占めた一方で、「鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター」や「水谷東公民館」などの地域に密着した施設の割合を合計すると6割程度を占めています。年齢層別にみると、地域に密着した施設の割合は「70歳以上」で特に割合が高くなっています。

### **今後は、高齢化社会を見据えた移動の配慮や施設の多機能化などの推進が必要である。**

- 一番利用した施設を利用頻度別にみると、「総合体育館」で「毎日・ほぼ毎日」と「週に数回程度」の割合が特に高くなっており、利用頻度の高い施設利用者が運動等のために利用していることが推測されます。また、「総合体育館」や「市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）」といった特別な用途の特徴を持つ施設への主な移動手段は、「自家用車（自動車・バイク）」が全体の割合に対して高くなっています。これらの施設は「70歳以上」も多く利用している施設であることから、今後の高齢化社会を見据え、その方々に対する移動への配慮や特別な用途の特徴を持つ施設の代わりに、地域に密着した施設機能を多機能化するなどの対応が必要であることが推察されます。

## **<公共施設に求められていることについて：問6・問7・問8>**

### **公共施設は、他では代替することが難しい空間を備えている。**

- 施設利用者が公共施設で行う活動は、「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」及び「軽い運動」が4割程度、「楽器の演奏」が1割程度、「実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）」が1割程度と、自宅などでは難しい活動が多く、施設選びで重要視することでも「必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること」が6割程度の割合を占めています。

### **施設利用者の活動時間には制約があり、個々の活動内容と活動時間に配慮する必要がある。**

- 施設を選ぶときに重要視することのうち、「使える曜日や時間が活動と合うこと」は、年齢層別に見ると「70歳以上」以外の年齢層で「全体」の割合を上回りました。施設利用者にとって、日常生活の活動時間には制約があることが考えられます。公共施設の合理化を進めながら、施設利用者の満足度を落とさないためには、個々の活動内容と活動時間に配慮する必要があると推察されます。

### **立地や移動手段には若年層と高齢者層への配慮が必要である。**

- 施設を選ぶときに重要視することのうち、「立地が良いこと」で、「18～19歳」、「20～29歳」、「60～69歳」、「70歳以上」の年齢層が「全体」の割合を上回りました。この年齢層では、30歳から59歳に比べて「徒歩」または「自転車」を公共施設への主な移動手段とする割合も高くなっています。このことから、立地や施設利用者の移動手段については、若年層と高齢者層への配慮が必要であることが推察されます。

## <利用停止となった際に必要な措置について：問9>

施設利用停止となった際には、複数措置の組み合わせが必要である。

- 公共施設が利用停止となった際に必要な措置は、例えば、「ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動」や「軽い運動」などでは「近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める」の割合が高い傾向にあるなど、施設利用者の活動内容によって、必要な措置が異なることから、施設が停止してしまう際には、施設利用者の事情に合わせた複数措置の組み合わせが求められます。また、その際、「徒歩」又は「自転車」を日常の移動手段にしている施設利用者が居ることを念頭に置いた措置が求められます。

## <改修や建て替えの際の要望について：問10>

改修や建て替えの際には、交流促進や安心・安全に寄与することが求められている。

- 改修や建て替えの際の要望は、「施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設」の割合が4割程度と最も高くなりました。公共施設で行う活動別では、「打合せ」や「講義・研究・文芸・語学」、「地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）」などが「全体」より高い割合となり、公共施設に交流を促進する機能を求めていることが推察されます。一方、「災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設」、「地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設」が4割近い割合を占めたことから、災害が発生した非日常時には、公共施設がその拠点などとして機能することが求められています。

## 4. 調査票

### 「公共施設の在り方」についておたずねします

#### あなたご自身についておたずねします

【問1】 あなたの性別は、次のうちのどれに当てはまりますか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

【問2】 あなたの年齢は、次のうちのどれに当てはまりますか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 18～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	

#### 市の公共施設全般の利用状況についておたずねします

【問3】 あなたは下記の公共施設の例にある市の施設を昨年1年間でどのくらい利用されましたか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 毎日・ほぼ毎日	3 月に数回程度	5 利用していない
2 週に数回程度	4 年に数回程度	

#### 公共施設の例

##### 1 行政施設

- (1) 市役所庁舎（本館・分館）
- (2) 教育委員会事務局（中央図書館内）
- (3) 出張所

##### 2 福祉施設（市立保育所・放課後児童クラブを除く。）

- (1) 児童館（関沢児童館・諏訪児童館・ふじみ野児童館）
- (2) 老人福祉センターびん沼荘
- (3) 市民福祉活動センターぱれっと
- (4) 健康増進センター

##### 3 生涯学習施設

- (1) 公民館・交流センター・コミュニティセンター
- (2) 図書館・資料館・体育館
  - ア図書館（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館）
  - イ資料館（水子貝塚資料館・難波田城資料館）
  - ウ市民総合体育館
  - エ富士見ガーデンビーチ
- (3) 集会所
- (4) 市民文化会館キラリ☆ふじみ

次の【問4】をおたずねするに当たり、公共施設を取り巻く現状についてご紹介します。

### 全国的な公共施設の現状についてご紹介します

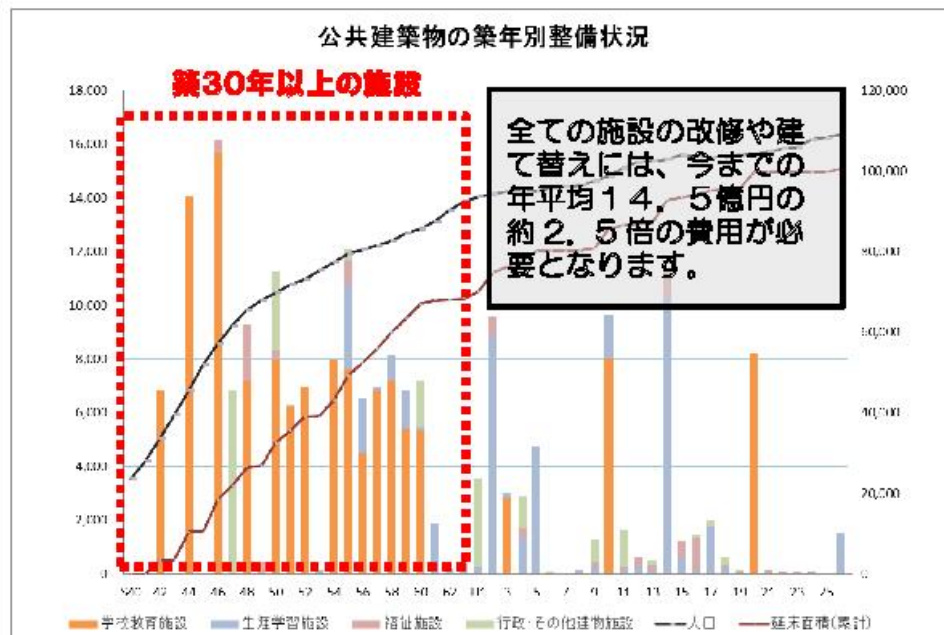


老朽化により改修や建て替えの時期を迎えた施設が全国的に増加しています。



改修や建て替えを急ぐと、建物の劣化が進み、落下物が発生する等大変危険です。

### 本市の公共施設の将来の更新等費用の見通しについてご紹介します



全ての公共施設の改修や建て替えの費用が足りない状況です。

資料：富士見市公共施設等総合管理方針（平成28年10月）



今後の市の公共施設に対する方策についておたずねします

【問4】 市の公共施設は、その6割以上が築30年以上の施設です。将来的に人口減少や少子高齢化が進むことが予想され、市の公共施設の在り方については、今後、様々な視点で検討が必要となります。公共施設の改修や建て替えの費用を捻出するため、例えば次のような方策で対応することが考えられますが、このような方策を取り入れることについて、あなたはどのように考えますか（①～⑦の方策につき、それぞれ1つだけ○印を付けてください）。

あなたの考え (各項目1つだけ○)		実施すべき	実施すべき どちらかといえば	実施すべきでない どちらかといえば	実施すべきでない
記入例		1	②	3	4
縮減	① 施設の多機能化※1や似たような施設の統合化※2を進める。	1	2	3	4
	② 利用率の低い施設、老朽化した施設などは、規模の縮小や廃止を行う。	1	2	3	4
	③ 民間施設の利用に対して助成する。	1	2	3	4
維持	④ 施設の維持・管理に関する経費を抑える。	1	2	3	4
	⑤ 利用料を引き上げたり、今まで無料だった施設を有料化したりして財源を確保する。	1	2	3	4
	⑥ 特別な税金を徴収して財源を確保する。	1	2	3	4
その他	⑦ 公共施設の維持・管理以外のあらゆる市の事業の縮小・廃止を行い、公共施設の維持・管理に要する費用を捻出する。	1	2	3	4

※1 施設の多機能化とは、複合化ともいい、異なる機能の施設と複合することをいいます。

※2 施設の統合化とは、集約化ともいい、同一機能の施設をより少ない数に集約することをいいます。

利用登録ができる市の公共施設の利用状況についておたずねします

【問5】 あなたが利用登録をすることができる市の公共施設（建物）について、昨年1年間でどの公共施設を一番利用しましたか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 鶴瀬公民館	9 鶴瀬コミュニティセンター
2 南畑公民館	10 サンライトホール
3 水谷公民館	11 南畑ふれあいプラザ
4 水谷東公民館	12 ピアザ☆ふじみ
5 ふじみ野交流センター	13 福祉活動センター（ぼれっと）
6 鶴瀬西交流センター	14 健康増進センター（体育館）
7 みずほ台コミュニティセンター	15 市民文化会館キラリ☆ふじみ（スタジオ）
8 針ヶ谷コミュニティセンター	16 総合体育館

【問6】 あなたが問5で一番利用すると答えた公共施設で行う活動に最も当てはまるものは何ですか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 打合せ	7 演劇
2 講義・研究・文芸・語学	8 調理
3 ダンス・日舞・体操・エクササイズ・ヨガ・各種武道など体を動かす活動	9 囲碁・将棋・その他ゲーム
4 3以外の軽い運動	10 実技を伴う活動各種（書道、生け花、絵画、工芸、模型制作、陶芸、手芸など）
5 楽器の演奏	11 地域活動（自治会・町内会、地域の茶の間など）
6 合唱・カラオケ	12 子育て（親子の居場所、親子遊びなど）
	13 その他（ ）

【問7】 あなたが施設を選ぶときに、重要視することは何ですか（当てはまる番号に○を3つまで付けてください。）。

1 必要な広さがある、必要な備品があるなど利用目的に合った空間を備えていること	5 予約が取り易いこと
2 立地が良いこと	6 利用料金がほかと比べて安いこと
3 使える曜日や時間が活動と合うこと	7 使い慣れた施設であること
4 十分な駐車スペースがあること	8 公民館として設置されていること
	9 その他（ ）

【問8】 あなたが問5で一番利用すると答えた市の公共施設への主な移動手段は何ですか（当てはまる番号に○を1つだけ付けてください。）。

1 徒歩	5 車での送迎（タクシー・デマンドタクシーを除く。）
2 自転車	6 タクシー・デマンドタクシー
3 自家用車（自動車・バイク）	7 その他（ ）
4 公共交通機関（電車・バス）	

**【問9】** あなたが問5で一番利用すると答えた公共施設の改修や建て替えができず、利用が停止されるとしたら、その際、あなたはどのような措置が必要と考えますか（特に重要と考える番号に○を2つまで付けてください）。

- |   |
|---|
| 1 市内で同様の公共施設を利用するため、その施設の収容能力を向上させる。    |
| 2 市内で同様の公共施設を利用するため、その施設への移動サービスを充実させる。 |
| 3 利用が停止した公共施設の近隣にある施設に停止した施設の機能を追加する。   |
| 4 同様の機能を有する民間施設を利用するため、その利用料を補助する。      |
| 5 近隣自治体で同様の公共施設を利用するため、自治体間の相互連携を高める。   |
| 6 利用をあきらめるため、特に必要なことはない。                |
| 7 その他 ( )                               |

**【問10】** あなたが問5で一番利用すると答えた公共施設の改修や建て替えが行われるとしたら、あなたはどのような施設を望みますか（特に重要と考える番号に○を2つまで付けてください）。

- |  |
|--|
| 1 施設の多機能化や他の施設との統合化により、様々な年代の人が交流できる施設 |
| 2 民間活力を導入し、サービスの向上と効率化を追求する施設          |
| 3 今後の市民の負担を抑えるため、改修や建て替えの費用を最低限に抑えた施設  |
| 4 災害時、支援や復興活動の拠点となる機能や備蓄倉庫がある施設        |
| 5 地震等の災害が発生しても壊れずに安心して使える施設            |
| 6 施設への交通環境が整備され、アクセスし易い施設              |
| 7 その他 ( )                              |

**ご自由にお書きください**

**【問11】** 公共施設に関することでお気づきの点やご意見などをお聞かせください。


アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



---

# 富士見市公共施設利用者アンケート報告書

～公共施設の利用状況や今後の公共施設の在り方に関する意向調査～

令和2年3月

発行 富士見市 総合政策部管財課  
〒354-8511 埼玉県富士見市鶴馬1800番地1  
TEL : 049-251-2711 (代表)  
URL : <http://www.city.fujimi.saitama.jp/>

---

